

# 第 1 4 回川崎病全国調査成績

厚生省川崎病研究班

[連絡先] 〒329-04 栃木県河内郡南河内町薬師寺3311-1  
自治医科大学公衆衛生学教室気付  
川崎病研究班疫学調査事務局  
(事務連絡担当：屋代真弓)  
TEL 0285-44-2111(内3109)

平成9年8月31日

# 第14回川崎病全国調査成績

## はじめに

1970年に第1回川崎病全国調査が実施された<sup>1)</sup>。それ以来合計13回の全国調査が行なわれ、1994年12月末までの患者が把握されていたが<sup>2-21)</sup>、今回1995年1月～1996年12月の2年間の患者を対象に第14回川崎病全国調査を実施した。2年間の調査成績より、報告患者数、性年齢分布、同胞例、再発例、心後遺症例、治療状況等の疫学特性を明らかにしたのでその概要を報告する。

## I. 方法

第14回川崎病全国調査は、1995年1月1日より1996年12月31日の2年間に小児科を併設する100床以上の病院、および小児科のみを標榜する100床未満の専門病院を受診した川崎病初診患者を対象にした。調査を依頼した施設のリストは、厚生省健康政策局総務課編「病院要覧1994年版」（医学書院発行）によって作成した。対象施設数は2,638か所であった。（添付の調査票参照）

## II. 調査結果

### 1. 回収率

調査依頼施設2,638か所のうち、廃院等の連絡があった11施設を除く2,627施設を調査対象とした。回答は1,777施設から得られ、回収率は67.6%であった。そのうち、患者報告があった施設は1,059施設（回収施設の59.6%）であった。都道府県別の対象施設数、回答施設数、回収率、患者あり施設数、患者報告数は表1に示すとおりであった。

### 2. 年次推移

今回の調査で報告された2年間の患者数は、1995年6,107人、1996年6,424人のあわせて12,531人であった。性別患者数は、男7,239人、女5,292人で、2年間平均の罹患率は0-4歳人口10万対年間105.3（男118.8、女91.1）であった。患者数の性比は1.37、罹患率の性比は1.30で男が多かった。過去13回に報告された患者を含めると1996年12月末までの患者は、合計140,837人（男81,783人、女59,054人）になった。患者数の年次推移をみると、表2、図1に示すように、男女とも1970年頃から着実に増加する傾向がみられる。これまでに1979、1982、1986年の3回にわたり流行があったが、1987年以降10年間は、全国的な流行はみられていない。しかし、1987年以後も増加傾向がみられ、ここ数年患者数は6,000人を越え、徐々に増加の傾向を示している。罹患率の年次推移をみると、1987年以後の増加傾向は、患者数の場合よりも明確であり、1990～93年は0-4歳人口10万対88～90の範囲にあった。しかし、1994年には約10%増加し、100を越した。1995、1996年はさらに増加し1996年には108.0となっている。図2はこれを性別にみたものであり、男女とも同じような傾向を示している。今後の動きを注意深く見守っていかなければならない。

### 3. 月別推移

2年間の月別、性別患者報告数を図3に示す。男女とも秋（特に10月）は少なめであった。1996年の3月、4月は他の月に比べて患者数が増加しており、局地的に小規模な流行があったことも考えられる。またすべての月で男が多かった。

### 4. 年齢分布

年齢別にみると3歳未満の者が全体の70.1%（男70.9%、女69.0%）を占めていた。（表3）

1995、1996年平均の性・年齢別罹患率は、男女とも0歳半ばから後半にピークを示す

一峰性のカーブを示していた。罹患率の性比は、月齢が6～8か月の者で最も大きく1.84であった。(図4)

## 5. 地域分布

2年間の患者住所都道府県別報告数の最も多いのは、東京1,322人、次いで神奈川964人、大阪882人、千葉716人の順であった。(表4)

過去7年間の都道府県別罹患率を0-4歳の人口10万に対する割合で計算したものが表5である(1992年までは1990年国勢調査人口、1993年からは1995年国勢調査人口を使用)。1994年以前に比べて罹患率が著しく増加したところとして、千葉、東京、和歌山、鳥取、徳島、福岡などがあげられた。また7年間全体を通して低いところとして、福島、愛知、宮崎、鹿児島、沖縄などがあげられた。1995、1996年の2年間の平均値について、都道府県別罹患率の地図を作成した。(図5)0-4歳人口10万対罹患率の実測値の地域差(左)をみると、関東から北陸にかけての広い地域、近畿、四国、九州に罹患率の高いところがみられたが、東北、南九州、沖縄では低かった。都道府県によって回収率が異なるので、未回収施設も同じ患者数があると仮定して回収率を100%に補正した上で地域差をみてみると(右)、実測値と類似した傾向がみられたが、罹患率の高いところが少し狭くなり、関東および近畿に限定されているようであった。さらに1995、1996年についても回収率を補正して図を作成した結果(図5つづき)、1995年は2年平均の地域差とほとんど同様であったが、1996年は、関東から近畿、中国、四国地方にかけての広い地域に罹患率の高いところが拡大していた。このことから、1996年にはこの地域を中心に局地的な流行があったと推測される。

## 6. 診断

診断基準への一致度をみると、定型例84.8%(男85.2%、女84.3%)、不定型例3.5%(男3.6%、女3.4%)、容疑例11.7%(男11.2%、女12.3%)であった。不定型例および、容疑例について、性・年齢別にみたものが図6である。両者とも1歳までの若年児と、5歳以上の高年児に多くみられ、U字型のカーブを示し、男女ともほぼ同じような傾向を示していた。

なお、定型例は「川崎病診断の手引き」に示された6つの主要症状のうち5つ以上の症状を伴う者、不定型例は4つの症状しか認められなくても、経過中に断層心エコー法もしくは、心血管造影法で、冠動脈瘤(いわゆる拡大を含む)が確認され、他の疾患が除外された者をいう。また容疑例は上記のいずれにも合致しないが、主治医が川崎病の疑いありと診断した者をいう。

## 7. 検査項目

今回、新たに調査項目に追加した血小板数の最低値および血清アルブミンの最低値の分布についてみる。まず診断別にみた血小板数の分布では、いずれも30-35(万/mm<sup>3</sup>)の値で最も高く、診断による明らかな差はみられなかった。年齢別には、若年齢では40(万/mm<sup>3</sup>)以上の高い値の者が多く、年齢が高くなるにつれて血小板数は低い値の者が多かった。(図7、図8)

診断別にみた血清アルブミン値の分布では、定型例、不定型例は3.4-3.8(g/dl)の値、容疑例は3.4-4.0(g/dl)の値がピークを示し、定型例が低い方に偏り、容疑例が高い方に偏る分布であった。年齢別には6か月以後、年齢が高くなるにつれて血清アルブミン値は低い値の者が増加していた。(図9、図10)

## 8. 同胞例

同胞例ありの割合は報告患者中0.9%(男0.8%、女1.1%)であった。同胞例ありの者の割合を性・年齢別にみると、男女とも年齢とともに上昇する傾向がみられた。男は例外的に3歳で山がみられた。(図11)

## 9. 再発例

再発例の割合は報告患者中3.3%（男3.5%、女3.0%）であった。性・年齢別にみると、男女とも年齢とともに上昇しており、男が女より高い傾向を示していた。（図12）

年齢別再発例の割合を再発回数別にみると、再発1回目の者は報告患者中3.0%、再発2回目以上の者は0.3%であった。再発1回目の者の割合は年齢とともに上昇していた。2回目以上の者の割合は5歳まで増加していたが、それ以降は増加していなかった。（図13）

再発ありについて、初発から再発までの期間をみると、男女とも3か月から1年未満が最も多く、2年以降は少なかった。初発後2年以後に再発した者の割合は男29.7%、女36.9%であった。（図14）

## 10. 死亡例

死亡例は2年間に10例（男5例、女5例）報告され0.08%を占めていた。性別にみると、男女差はわずかで、年齢別にみると、0-11か月が0.16%で最も高かった。（表6）

## 11. 心後遺症例

心後遺症例の割合は報告患者中12.1%（男14.2%、女9.1%）であり、男は女の約1.5倍以上の高率を示していた。心後遺症ありの者の割合を性・年齢別にみると男は6か月未満の若年児と7歳以上の高年児、女は6か月未満の若年児と9歳以上の高年児が高く、男女ともゆるやかなU型のカーブを示し、各年齢とも女は男に比べて低かった。（図15）

性・年齢別に巨大瘤、瘤、拡大の出現率をみると、いずれも生後6か月未満の患者では、他の年齢よりも高い値を示し、いったん減少した後、高年齢になる程上昇する傾向がみられた。各病変、各年齢とも女は男に比べて低かった。（図16）

心後遺症の種類別の割合は報告患者中、冠動脈の拡大8.2%、瘤3.0%、巨大瘤0.8%、弁膜病変0.4%、狭窄0.1%、心筋梗塞0.1%であった。それを男女別にみたものが図17である。すべて男に高かった。

心後遺症の種類別の出現率を2歳未満と、2歳以上の2区分に分けてみたものが図18である。いずれの病変も年齢による差はあまりみられなかったが、巨大瘤、弁膜病変、心筋梗塞の出現率は2歳以上でやや高率にみられ、瘤、拡大、狭窄の出現率は2歳未満の若年児に高率にみられた。

後遺症の出現率を血小板数の区別にみたものが図19である。血小板数が低い値および高い値ほど後遺症も高率にみられた。後遺症出現率の最も少ない区分は35-39万/mm<sup>3</sup>であった。

後遺症の出現率を血清アルブミン値の区別にみたものが図20である。後遺症出現率の最も高いのは血清アルブミン値が2.4g/dl未満の者で37.9%みられた。血清アルブミン値が高くなるにつれて後遺症出現率は低下の傾向を示していた。

## 12. 初診時病日

患者の初診日は第4病日が最も多かった。2歳未満と2歳以上の2区分に分けてみたものが図21である。第4病日までに受診した者は2歳未満の者では61.1%を占めていたが、2歳以上の者では51.8%であり、2歳未満の若年児が早く受診する傾向を示していた。

患者の初診日について、診断別にみたものが図22である。定型例と容疑例のピークは第4病日、ついで定型例は第5病日、容疑例は第3病日であった。不定型例のピークはやや早く第3病日であり受診病日がやや早い傾向がみられる一方、10日以上たってから受診する者も多くみられた。

## 13. 治療

ガンマグロブリンの治療を受けた者は86.1%（男86.5%、女85.4%）を占めていた。性・年齢別ガンマグロブリン使用ありの割合をみたものが図23である。男女とも6歳未満の若年児では約85%を占め、高年児では下降していた。

ガンマグロブリンの1日あたりの投与量は、301-400mg/kgの者が最も多く45.0%、次いで

101-200mg/kgの者19.6%、201-300mg/kgの者16.0%となっていた。投与期間は5日が最も多く、63.1%、次いで3日12.2%、4日6.5%であった。(表7)

ガンマグロブリンの1日投与量と使用日数から計算した使用総量は、2000mg/kgが最も多く32.6%、次いで1000mg/kgが25.9%、1200mg/kgが14.1%であった。(図24)

性別にはほとんど差がなく、年齢別にみると、高年児、特に10歳以上の使用総量が少なかった。(図25)

ガンマグロブリンの使用の有無別、年齢別の心後遺症例の割合をみたものが図26である。使用ありは使用なしに比べて高く、特に6か月未満および3歳以上で高率を示していた。

ガンマグロブリンの投与開始日は第5病日が最も多く30.1%、次いで第4病日19.4%、第6病日19.0%となっていた。性別にはあまり差はみられなかった。(図27)

ガンマグロブリンの投与開始日を年齢別にみると、2歳未満が早く投与を開始する傾向がみられ、第5病日までに投与を開始した者の割合は2歳未満では66.4%、2歳以上では54.3%と10%以上の開きがあった。(図28)

ガンマグロブリンの投与開始日を診断別にみると、定型例が早く投与を開始していた。不定型例、容疑例は10日以上たってから投与を開始する者もみられ、これは初診時病日の分布と類似している。(図29)

### Ⅲ. 要約

1. 2年間の報告患者数は12,531名であった。
2. 月別患者数は男女とも、秋は少なめであった。1996年の3月、4月には他の月に比べて増加していた。また、すべての月で男が多かった。
3. 性、年齢別罹患率は男女とも0歳半ばから後半にピークを示す一峰性のカーブであった。
4. 0-4歳人口10万対罹患率は、1995年が102.6(男116.4、女88.2)1996年は108.0(男121.1、女94.1)であった。
5. 罹患率の地域差をみると、関東から北陸にかけての広い地域、近畿、四国、九州に罹患率の高いところがみられ、回収率を補正したところ、1996年は、近畿から中国、四国地方にかけての広い地域に罹患率の高いところが拡大しており、この地域に局地的な流行があったと考えられた。
6. 診断基準への一致度をみると、定型例84.8%、不定型例3.5%、容疑例11.7%であった。
7. 同胞例、再発例、心後遺症例の出現頻度は、それぞれ0.9%、3.3%、12.1%であった。
8. 初発から再発までの期間は3~11か月が最も多く、2回以上の再発例は0.3%みられた。
9. 死亡例は2年間に10人(男5人、女5人)報告され、全体の0.08%を占めていた。
10. 心後遺症の内容では、冠動脈の拡大8.2%、瘤3.0%、巨大瘤0.8%、弁膜病変0.4%、狭窄0.1%、心筋梗塞0.1%であり、すべて男が高かった。年齢別にみると、いずれの病変も年齢による差はあまりみられなかったが、巨大瘤、弁膜病変、心筋梗塞の出現率は2歳以上でやや高率にみられ、瘤、拡大、狭窄の出現率は2歳未満の若年児にやや高率にみられた。
11. 患者の初診日は第4病日が最も多く、2歳未満の若年児がやや早く受診していた。
12. ガンマグロブリンの治療を受けた者は86.1%を占め、投与開始病日は第5病日が最も多く、1日あたり投与量は301-400mg/kgの者が多かった。また総投与量は、2000mg/kgが最も多く32.6%、次いで1000mg/kgが25.9%、1200mg/kgが14.1%であった。
13. 診断別にみた血小板数の分布では、いずれも30-35(万/mm<sup>3</sup>)の値で最も高くなっていた。年齢別には、若年齢では40(万/mm<sup>3</sup>)以上の高い値の者が多く、年齢が高くなるにつれて血小板数は低い値の者が多かった。
14. 診断別にみた血清アルブミン値の分布では、定型例、不定型例は3.4-3.8(g/dl)の値で最も高く、容疑例は3.4-4.0(g/dl)の値で高くなっていた。年齢別には6か月以後、

年齢が高くなるにつれて血清アルブミン値は低い値の者が増加していた。

## おわりに

第1回全国調査以来終始変わらぬご協力を賜った関係医療機関の小児科医各位に対し、本研究班として深く感謝します。

## 文献

- 1) 小児MCLS研究班(班長:神前章雄). 小児MCLS全国調査成績, 昭和45年度予備調査成績と昭和46年度個人調査成績の概要. 1971.
- 2) 重松逸造, 柳川洋. いわゆる川崎病について. 日本公衛誌 1975;22(6):306-312.
- 3) 柳川洋. 川崎病の実態. 公衆衛生情報 1975;5(12):22-29.
- 4) 柳川洋. 川崎病の疫学. 日本臨床 1976;34(2):275-283.
- 5) 川崎病研究班. 最近(1977-78年)におけるMCLS(川崎病)の実態, -第5回全国調査結果の速報-. 小児科 1979;20(7):755-757.
- 6) 川崎病研究班. MCLS(川崎病の多発) -第6回全国調査成績の速報-. 小児科 1981;22(1):53-58.
- 7) 川崎病研究班. 最近(1981年1月-82年6月)におけるMCLS(川崎病)の実態, -第7回全国調査成績の速報-. 小児科 1983;24(1):53-58.
- 8) 厚生省川崎病研究班. 第8回川崎病全国調査成績. 小児科 1985;26(9):1049-1053.
- 9) 厚生省川崎病研究班. 第9回川崎病全国調査成績. 小児科 1987;28(9):1059-1066.
- 10) 厚生省川崎病研究班. 第10回川崎病全国調査成績. 小児科 1990;31(5):569-576.
- 11) 厚生省川崎病研究班. 第11回川崎病全国調査成績. 小児科 1992;33(3):309-316.
- 12) 厚生省川崎病研究班. 第12回川崎病全国調査成績. 小児科 1994;35(1):61-73.
- 13) 厚生省川崎病研究班. 第13回川崎病全国調査成績. 小児科 1996;37(4):363-383.
- 14) 柳川洋. 川崎病の全国調査成績. 川崎病疫学データのすべて(日本心臓財団川崎病原因究明委員会編). 東京:ソフトサイエンス社, 1986;37-51.
- 15) 柳川洋, 屋代真弓, 藤田委由. 川崎病の全国調査成績. 川崎病(川崎富作, 重松逸造, 濱島義博, 柳川洋, 加藤裕久編). 東京:南江堂, 1988;18-31.
- 16) Kawasaki T, Kosaki F, Okawa S, Shigematsu I, Yanagawa H. A new infantile acute febrile mucocutaneous lymph node syndrome (MLNS) prevailing in Japan. Pediatrics 1974; 54:271-276.
- 17) Yanagawa H, Kawasaki T, Shigematsu I. Nationwide survey on Kawasaki disease in Japan. Pediatrics 1987;80:58-62.
- 18) Yanagawa H, Nakamura Y, Yashiro M, Fujita Y, Nagai M, Kawasaki T, Aso S, Imada Y, Shigematsu I. A nationwide survey of Kawasaki disease in 1985-1986 in Japan. J Infect Dis 1988;158(6):1296-1301.
- 19) Yanagawa H, Yashiro M, Nakamura Y, Kawasaki T, Kato H. Epidemiologic pictures of Kawasaki disease in Japan: From the nationwide survey in 1991 and 1992. Pediatrics 1995;95(4):475-479.
- 20) Yanagawa H, Yashiro M, Nakamura Y, Kawasaki T, Kato H. Results of 12 nationwide epidemiological incidence surveys of Kawasaki disease in Japan. Arch Pediatr Adolesc Med 1995;149:779-783.
- 21) Yanagawa H, Nakamura Y, Yashiro M, Ojima T, Koyanagi H, Kawasaki T. Update of the epidemiology of Kawasaki disease in Japan. -From the results of 1993-94 nationwide survey-. J Epidemiol 1996;6(3):148-157.

[表1] 都道府県別回収状況

	対象施設数	回答施設数	回収率	患者あり 施設数	患者* 報告数
総数	2,627	1,777	67.6	1,059	12,531
1 北海道	157	110	70.1	58	510
2 青森	42	31	73.8	16	161
3 岩手	39	24	61.5	19	107
4 宮城	45	30	66.7	16	167
5 秋田	31	24	77.4	13	79
6 山形	24	18	75.0	12	150
7 福島	64	37	57.8	15	111
8 茨城	66	35	53.0	23	211
9 栃木	37	28	75.7	18	231
10 群馬	44	31	70.5	15	230
11 埼玉	115	69	60.0	35	532
12 千葉	97	60	61.9	39	741
13 東京都	194	138	71.1	85	1,399
14 神奈川県	124	88	71.0	56	937
15 新潟	55	37	67.3	23	206
16 富山	29	21	72.4	14	85
17 石川	39	31	79.5	21	152
18 福井	22	16	72.7	10	82
19 山梨	22	14	63.6	11	80
20 長野	54	35	64.8	24	245
21 岐阜	46	35	76.1	22	183
22 静岡県	56	44	78.6	33	350
23 愛知県	118	69	58.5	44	644
24 三重	32	22	68.8	16	159
25 滋賀	26	21	80.8	15	116
26 京都	66	46	69.7	26	288
27 大阪	180	110	61.1	71	858
28 兵庫県	107	73	68.2	47	573
29 奈良	28	21	75.0	14	110
30 和歌山	24	19	79.2	13	166
31 鳥取	15	12	80.0	8	94
32 島根	24	16	66.7	9	71
33 岡山	45	31	68.9	15	162
34 広島	61	48	78.7	32	340
35 山口	41	31	75.6	18	151
36 徳島	26	17	65.4	9	105
37 香川	25	17	68.0	12	108
38 愛媛	36	22	61.1	13	137
39 高知	31	20	64.5	9	63
40 福岡	101	70	69.3	36	668
41 佐賀	20	14	70.0	8	42
42 長崎	46	31	67.4	13	163
43 熊本	53	38	71.7	13	184
44 大分	25	20	80.0	13	115
45 宮崎	19	11	57.9	8	101
46 鹿児島	39	22	56.4	12	110
47 沖縄	37	20	54.1	7	54

\* 施設所在地の都道府県別患者数

[表2] 性別患者数、罹患率、死亡数、致命率の推移

年次	患者数			0~4歳10万対年間罹患率			死亡数 (致命率%)
	計	男	女	計	男	女	
~1964	88	58	30	1.1	1.4	0.8	—
1965	61	33	28	0.8	0.8	0.7	—
1966	79	49	30	1.0	1.2	0.8	—
1967	101	60	41	1.2	1.4	1.0	2(2.0)
1968	310	177	133	3.7	4.1	3.2	6(1.9)
1969	461	281	180	5.3	6.3	4.3	9(2.0)
1970	887	527	360	10.1	11.8	8.4	10(1.1)
1971	804	480	324	8.7	10.1	7.1	12(1.5)
1972	1,135	658	477	12.0	13.5	10.4	16(1.4)
1973	1,524	928	596	15.6	18.4	12.5	35(2.3)
1974	1,963	1,157	806	19.7	22.6	16.7	20(1.0)
1975	2,216	1,332	884	22.3	26.1	18.3	16(0.7)
1976	2,337	1,406	931	23.9	28.0	19.6	16(0.7)
1977	2,798	1,706	1,092	29.3	34.8	23.5	18(0.6)
1978	3,459	2,064	1,395	37.7	43.7	31.2	14(0.4)
1979	6,867	3,987	2,880	78.0	88.1	67.3	38(0.6)
1980	3,932	2,317	1,615	46.5	53.4	39.2	8(0.2)
1981	6,383	3,677	2,706	78.3	87.9	68.2	16(0.3)
1982	15,519	8,762	6,757	196.1	215.8	175.4	49(0.3)
1983	5,961	3,441	2,520	77.3	86.9	67.1	17(0.3)
1984	6,514	3,790	2,724	86.0	97.5	73.9	19(0.3)
1985	7,611	4,430	3,181	102.1	116.4	87.1	10(0.1)
1986	12,847	7,250	5,597	176.8	194.7	157.9	18(0.1)
1987	5,256	3,066	2,190	73.8	84.0	63.1	10(0.2)
1988	5,217	3,056	2,161	75.3	86.0	64.1	4(0.1)
1989	5,591	3,251	2,340	83.6	94.7	71.9	8(0.1)
1990	5,706	3,268	2,438	88.1	98.4	77.3	12(0.2)
1991	5,677	3,354	2,323	90.1	103.8	75.7	7(0.1)
1992	5,544	3,250	2,294	89.9	102.8	76.4	2(0.04)
1993	5,389	3,155	2,234	89.1	101.6	75.9	11(0.2)
1994	6,069	3,574	2,495	101.1	115.9	85.4	2(0.03)
1995	6,107	3,548	2,559	102.6	116.4	88.2	6(0.09)
1996	6,424	3,691	2,733	108.0	121.1	94.1	4(0.06)
計	140,837	81,783	59,054	—	—	—	415(0.29)

\* 罹患率の計算には人口動態統計の分母に用いる日本人人口（5年ごとの国勢調査人口および各年次の推計人口で、人口動態統計に掲載されているもの。ただし、1996年は1995年の国勢調査人口）を用いた。



[表3] 年齢別、年次別、性別患者数

	患者数								
	総数			1995年			1996年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	12,531	7,239	5,292	6,107	3,548	2,559	6,424	3,691	2,733
0-5月	1,402	822	580	683	395	288	719	427	292
6-11月	2,207	1,326	881	1,057	661	396	1,150	665	485
1歳	3,168	1,864	1,304	1,525	903	622	1,643	961	682
2歳	2,007	1,119	888	1,026	572	454	981	547	434
3歳	1,419	790	629	700	375	325	719	415	304
4歳	959	530	429	474	272	202	485	258	227
5歳	651	379	272	306	177	129	345	202	143
6歳	289	167	122	131	69	62	158	98	60
7歳	191	103	88	87	50	37	104	53	51
8歳	92	53	39	46	28	18	46	25	21
9歳	54	32	22	26	19	7	28	13	15
10歳-	77	46	31	39	21	18	38	25	13
不明	15	8	7	7	6	1	8	2	6

[表4] 患者住所都道府県別、年次別、性別患者数

	患者数								
	総数			1995年			1996年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	12,531	7,239	5,292	6,107	3,548	2,559	6,424	3,691	2,733
1 北海道	507	284	223	266	157	109	241	127	114
2 青森	153	92	61	77	44	33	76	48	28
3 岩手	106	63	43	41	22	19	65	41	24
4 宮城	171	102	69	78	48	30	93	54	39
5 秋田	75	47	28	33	17	16	42	30	12
6 山形	146	88	58	70	49	21	76	39	37
7 福島	112	59	53	50	28	22	62	31	31
8 茨城	232	141	91	118	75	43	114	66	48
9 栃木	219	123	96	115	62	53	104	61	43
10 群馬	210	129	81	104	64	40	106	65	41
11 埼玉	651	384	267	323	194	129	328	190	138
12 千葉	716	427	289	372	236	136	344	191	153
13 東京都	1,322	762	560	659	371	288	663	391	272
14 神奈川県	964	534	430	494	275	219	470	259	211
15 新潟	205	107	98	106	57	49	99	50	49
16 富山	86	54	32	45	28	17	41	26	15
17 石川	151	83	68	72	44	28	79	39	40
18 福井	82	47	35	30	10	20	52	37	15
19 山梨	82	45	37	39	22	17	43	23	20
20 長野	249	147	102	126	79	47	123	68	55
21 岐阜	175	107	68	84	57	27	91	50	41
22 静岡県	348	206	142	151	87	64	197	119	78
23 愛知県	626	372	254	332	201	131	294	171	123
24 三重	161	71	90	75	35	40	86	36	50
25 滋賀	118	61	57	59	29	30	59	32	27
26 京都	283	166	117	133	77	56	150	89	61
27 大阪	882	507	375	403	225	178	479	282	197
28 兵庫県	576	322	254	275	163	112	301	159	142
29 奈良	112	60	52	54	27	27	58	33	25
30 和歌山	164	101	63	72	43	29	92	58	34
31 鳥取	83	53	30	42	27	15	41	26	15
32 島根	70	42	28	30	20	10	40	22	18
33 岡山	166	89	77	73	39	34	93	50	43
34 広島	338	188	150	152	83	69	186	105	81
35 山口	151	100	51	66	47	19	85	53	32
36 徳島	110	69	41	63	38	25	47	31	16
37 香川	98	51	47	49	24	25	49	27	22
38 愛媛	134	67	67	66	38	28	68	29	39
39 高知	64	32	32	24	12	12	40	20	20
40 福岡	630	372	258	315	177	138	315	195	120
41 佐賀	73	46	27	32	20	12	41	26	15
42 長崎	152	95	57	72	41	31	80	54	26
43 熊本	180	103	77	88	47	41	92	56	36
44 大分	122	75	47	56	32	24	66	43	23
45 宮崎	96	55	41	46	27	19	50	28	22
46 鹿児島	117	69	48	51	31	20	66	38	28
47 沖縄	55	37	18	23	17	6	32	20	12
48 不明	8	5	3	3	2	1	5	3	2

[表5] 都道府県別、年次別罹患率

年次 県名	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
全 国	88.1	90.1	89.9	89.1	101.1	102.6	108.0
1 北海道	90.8	89.7	95.5	94.6	103.8	102.3	92.7
2 青森	88.8	111.3	117.5	95.8	102.8	106.9	105.6
3 岩手	55.3	52.6	75.0	34.8	63.8	59.4	94.2
4 宮城	134.9	101.6	96.0	98.2	115.9	69.0	82.3
5 秋田	55.7	80.3	75.4	88.7	94.3	62.3	79.2
6 山形	102.9	107.4	94.1	58.3	76.7	116.7	126.7
7 福島	37.4	27.6	47.2	46.8	73.0	45.0	55.9
8 茨城	103.8	66.9	73.9	87.7	96.6	80.8	78.1
9 栃木	79.8	114.7	90.8	120.6	120.6	118.6	107.2
10 群馬	99.0	101.9	110.6	81.8	108.1	105.1	107.1
11 埼玉	89.1	69.2	64.8	67.3	91.2	95.3	96.8
12 千葉	85.4	112.2	91.7	104.0	132.2	136.3	126.0
13 東京都	100.8	102.7	106.5	114.7	128.0	140.8	141.7
14 神奈川県	90.7	92.4	83.0	88.0	94.9	126.0	119.9
15 新潟	97.0	65.2	65.2	79.7	113.6	89.8	83.9
16 富山	94.4	98.1	90.7	132.0	118.0	90.0	82.0
17 石川	123.0	109.8	109.8	133.3	119.3	126.3	138.6
18 福井	102.2	102.2	89.1	78.6	131.0	71.4	123.8
19 山梨	91.3	65.2	80.4	51.1	126.7	86.7	95.6
20 長野	83.2	88.5	97.3	80.6	110.2	116.7	113.9
21 岐阜	89.1	90.0	69.1	49.5	80.6	81.6	88.3
22 静岡	88.1	110.0	95.5	85.8	104.4	82.5	107.7
23 愛知	72.9	74.8	74.5	90.7	83.1	93.8	83.1
24 三重	96.9	107.3	94.8	108.9	111.1	83.3	95.6
25 滋賀	138.4	54.8	60.3	53.6	84.1	85.5	85.5
26 京都	94.6	76.7	93.8	100.0	131.6	113.7	128.2
27 大阪	79.4	74.9	74.9	84.3	91.4	96.0	114.0
28 兵庫	101.0	103.1	101.4	109.2	107.3	105.0	114.9
29 奈良	93.1	108.3	118.1	97.1	104.4	79.4	85.3
30 和歌山	116.1	121.4	116.1	88.2	154.9	141.2	180.4
31 鳥取	73.5	50.0	73.5	83.3	63.3	140.0	136.7
32 島根	90.2	65.9	70.7	50.0	72.2	83.3	111.1
33 岡山	51.0	76.5	69.6	66.7	65.6	78.5	100.0
34 広島	77.0	83.6	87.5	110.0	102.9	108.6	132.9
35 山口	64.9	87.0	100.0	89.7	94.1	97.1	125.0
36 徳島	109.3	102.3	62.8	121.6	81.1	170.3	127.0
37 香川	121.2	107.7	103.8	112.8	125.5	104.3	104.3
38 愛媛	119.0	84.8	91.1	118.3	131.0	93.0	95.8
39 高知	85.0	77.5	75.0	94.4	75.0	66.7	111.1
40 福岡	94.6	103.8	99.6	107.6	104.2	132.9	132.9
41 佐賀	74.5	88.2	49.0	60.9	115.2	69.6	89.1
42 長崎	50.5	86.8	69.2	97.5	88.6	91.1	101.3
43 熊本	70.9	97.1	117.5	88.0	96.7	95.7	100.0
44 大分	81.3	84.4	70.3	86.2	100.0	96.6	113.8
45 宮崎	82.1	68.7	47.8	70.0	60.0	76.7	83.3
46 鹿児島	69.6	69.6	53.9	80.0	82.2	56.7	73.3
47 沖縄	25.0	16.3	27.2	27.9	26.7	26.7	37.2

\* 都道府県別罹患率の計算には1992年までは1990年の国勢調査人口、1993年からは1995年の国勢調査人口を用いた。現住所不明の者は計算から除外した。

[表6] 性別、年齢別死亡例の割合

総数		総数	死亡例	(%)
		12,531	10	0.08
性別	男	7,239	5	0.07
	女	5,292	5	0.09
年齢別	0~11か月	3,609	6	0.16
	12~23か月	3,168	1	0.03
	2歳~4歳	4,385	3	0.07
	5歳以上	1,354	0	0
	不明	15	—	—

[表7] ガンマグロブリン1日投与量 (mg/kg) 別、投与期間の分布

	総数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日-	不明
総数	10,783	974	535	1,315	699	6,799	62	65	21	10	11	292
-100mg/kg	26	8	2	4	2	8	1	1	0	0	0	0
-200mg/kg	2,110	16	38	98	73	1,827	9	8	5	1	1	34
-300mg/kg	1,724	26	20	189	200	1,216	13	15	4	2	2	37
-400mg/kg	4,857	36	77	853	337	3,386	33	37	12	6	8	72
-500mg/kg	633	8	98	121	71	318	3	2	0	1	0	11
-600mg/kg	67	3	18	16	8	18	2	0	0	0	0	2
-700mg/kg	23	3	4	12	2	2	0	0	0	0	0	0
-800mg/kg	12	6	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0
-900mg/kg	13	4	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0
-1000mg/kg	776	477	262	13	3	6	0	0	0	0	0	15
1000mg/kg+	407	387	5	4	2	1	0	0	0	0	0	8
不明	135	0	0	2	1	16	1	2	0	0	0	113

\* ガンマグロブリン使用例10,783人を集計

図1 年次別、性別患者数

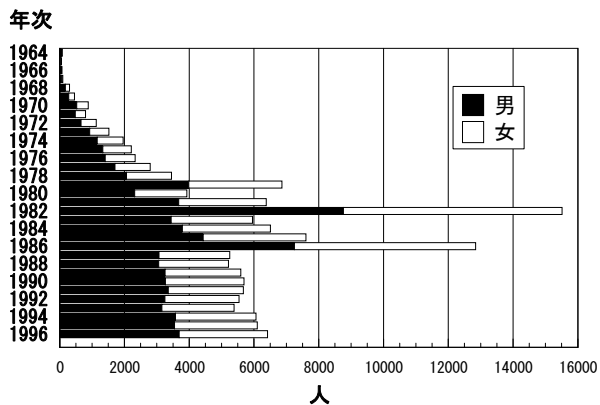


図2 年次別、性別罹患率

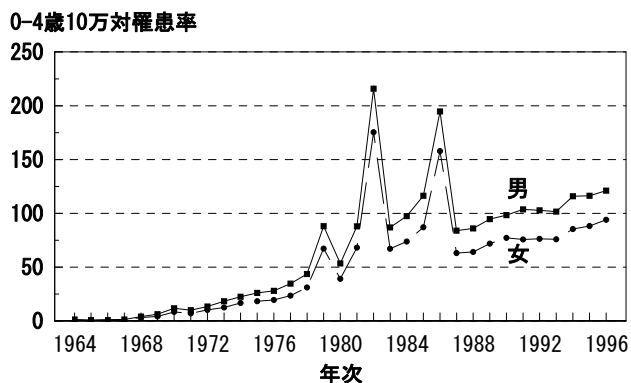


図3 月別、性別患者数

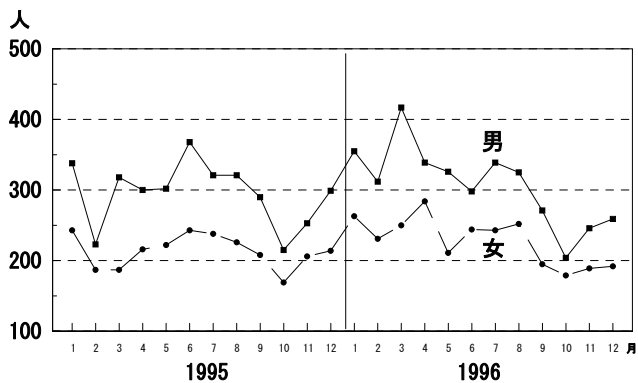


図4 性別、年齢別罹患率

1995年、96年平均

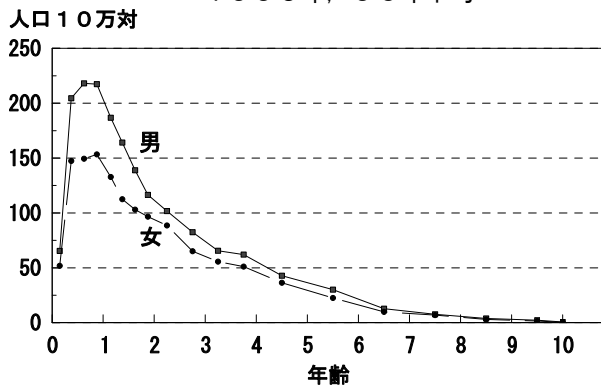


図5 都道府県別罹患率

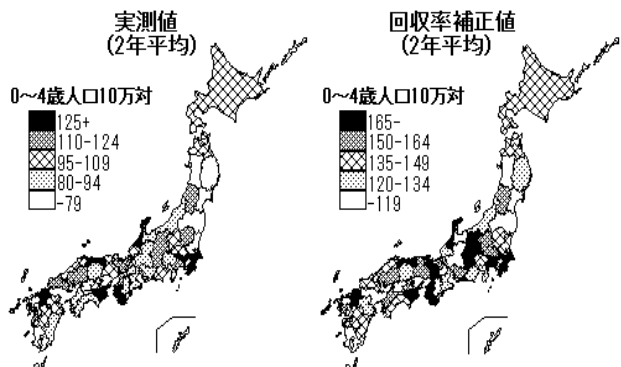


図5 つづき

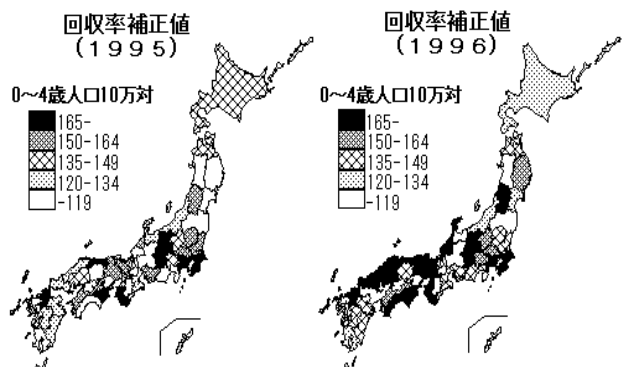


図6 性別、年齢別不定型例・容疑例の割合

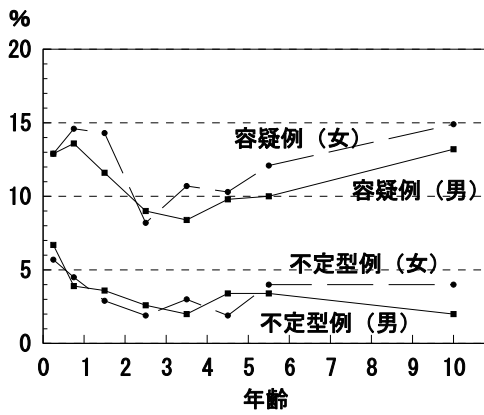
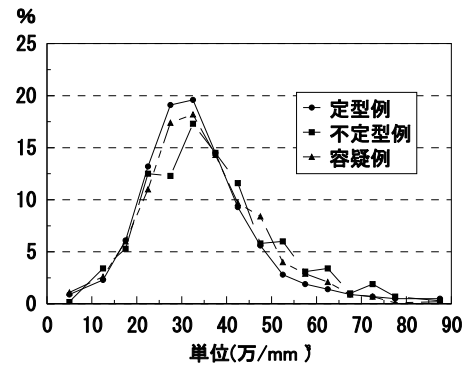
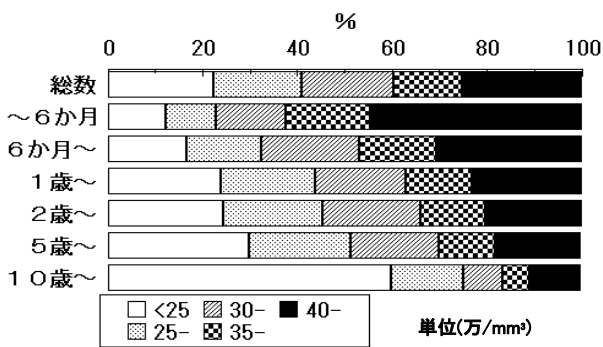


図7 診断別血小板数の分布



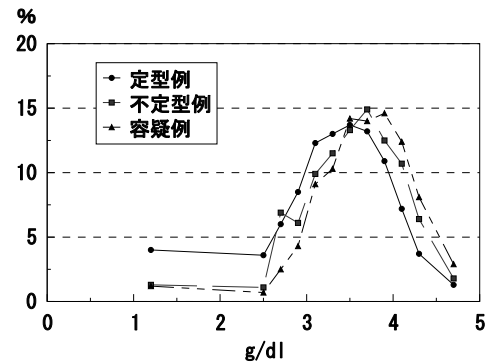
\*血小板検査値ありの者11,927人を集計

図8 年齢別血小板数の分布



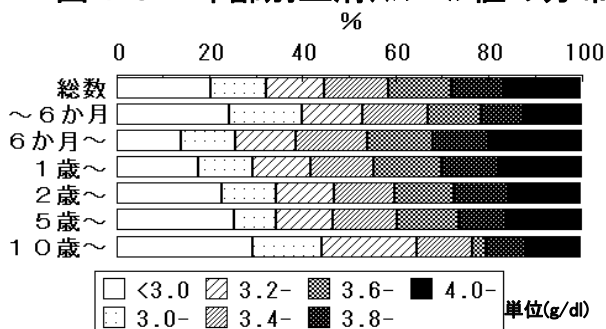
\*血小板検査値ありの者11,927人を集計

図9 診断別血清アルブミン値の分布



\*血清アルブミン検査値ありの者10,664人を集計

図10 年齢別血清アルブミン値の分布



\*血清アルブミン検査値ありの者10,664人を集計

図11 性別、年齢別同胞例ありの割合

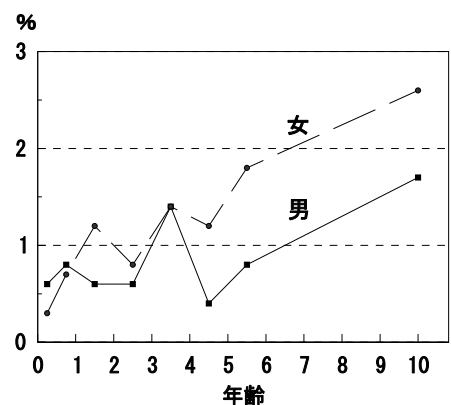


図 1 2 性別、年齢別再発例の割合

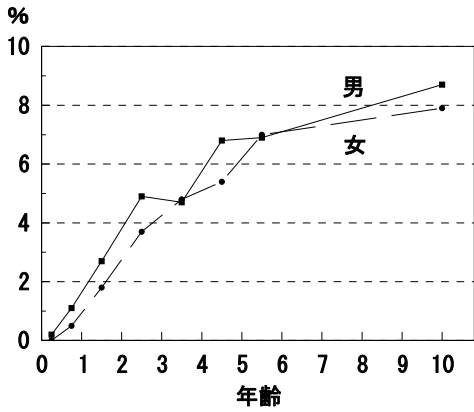


図 1 3 年齢別、再発回数別再発例の割合

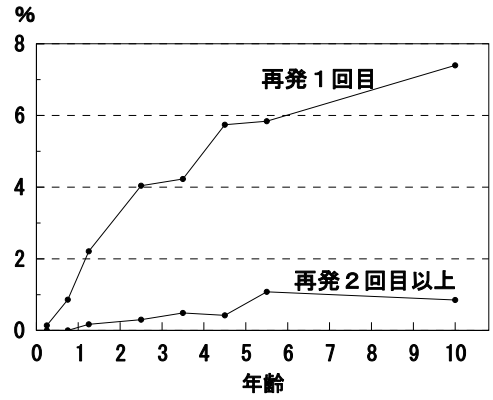
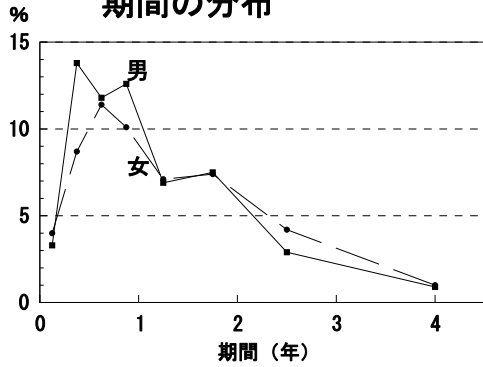


図 1 4 初発から今回の再発までの期間の分布



\*再発あり413人を集計 (期間不明18人を除く)

図 1 5 性別、年齢別心後遺症の出現率

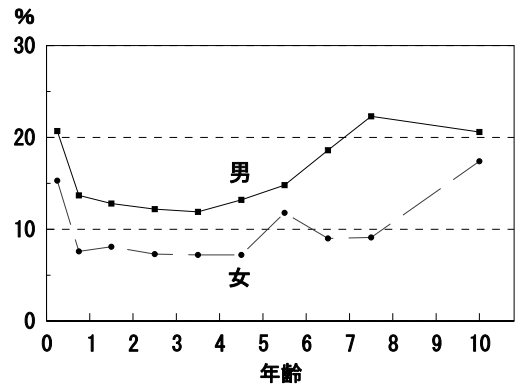


図 1 6 性別、年齢別巨大瘤、瘤、拡大の出現率

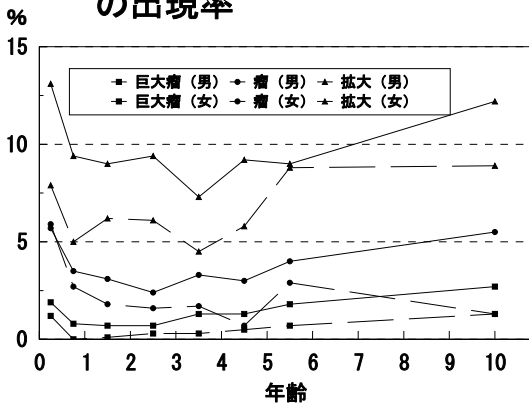


図 1 7 性別、種類別心後遺症の出現率

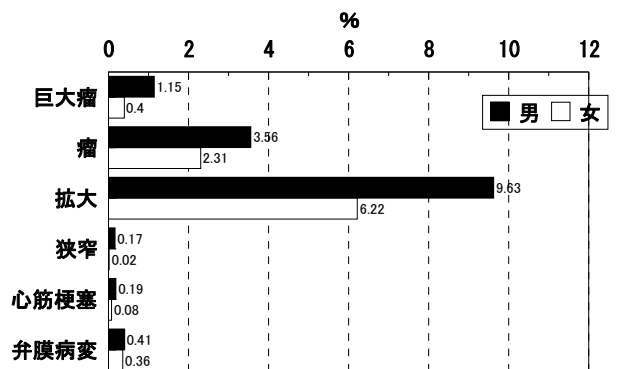


図 18 年齢別、種類別心後遺症の出現率

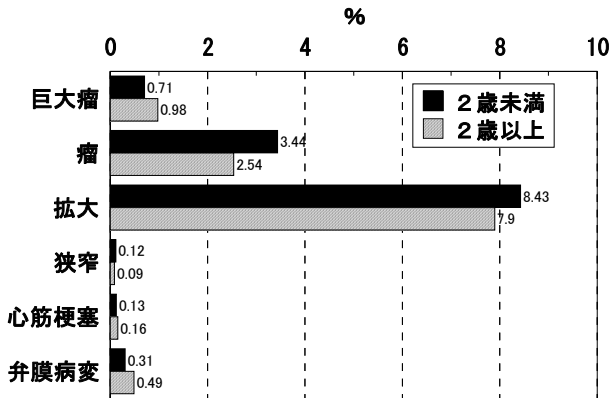


図 19 血小板区分別心後遺症の出現率

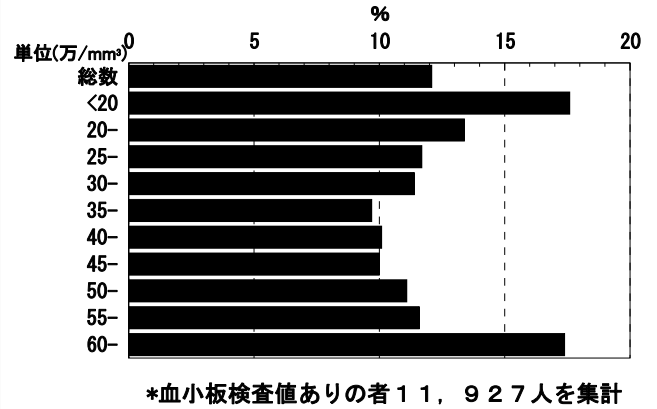


図 20 血清アルブミン値区分別心後遺症の出現率

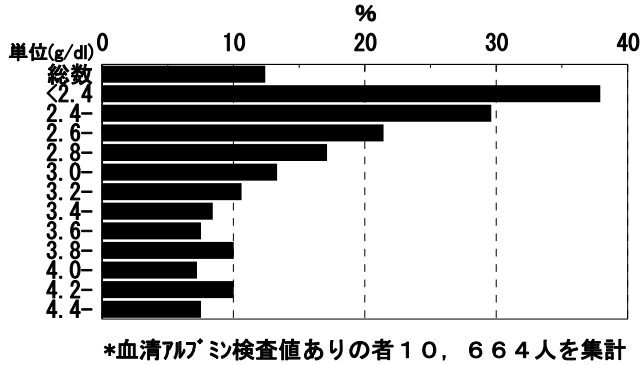


図 21 年齢別、初診時病日の分布

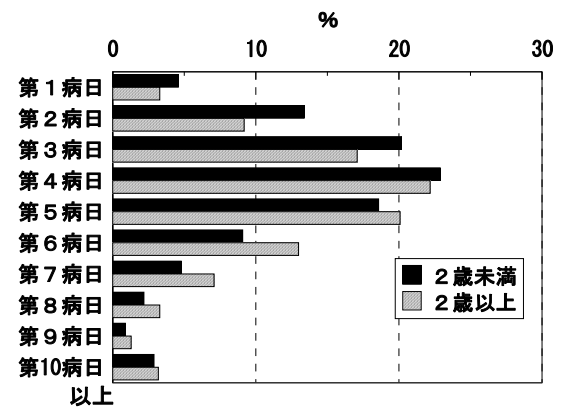


図 22 診断別、初診時病日の分布

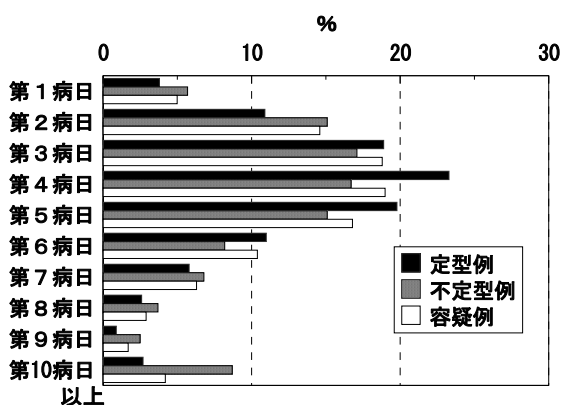


図 23 性別、年齢別ガンマグロブリン使用ありの割合

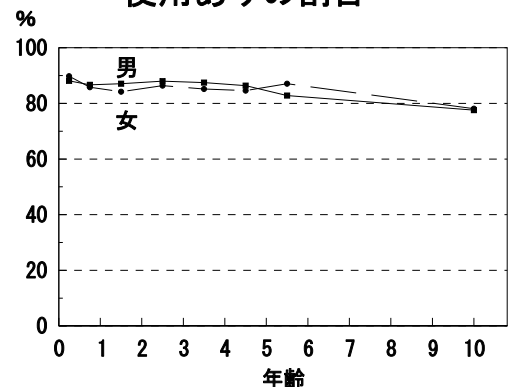
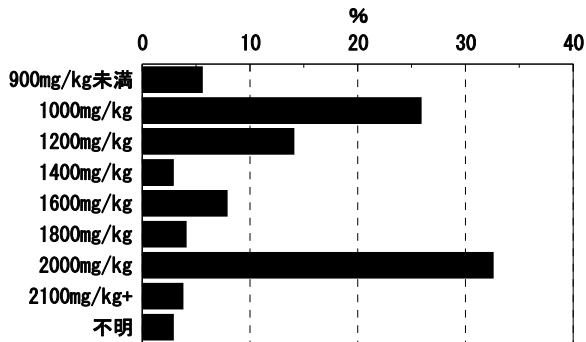


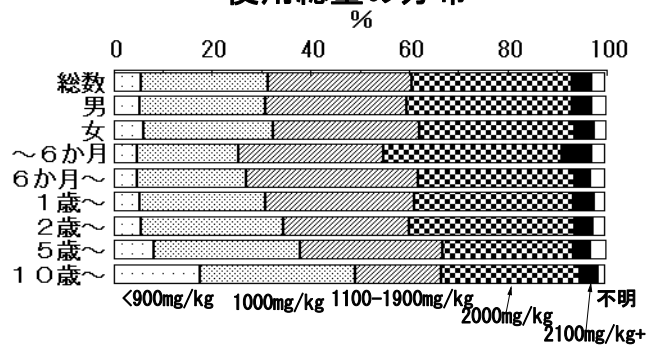


図24 ガンマグロリン使用総量の分布



\*ガンマグロリン使用例10,783人を集計  
各区分 $\pm 100$ mg/kgを含む

図25 性別、年齢別ガンマグロリン使用総量の分布



\*ガンマグロリン使用例10,783人を集計  
1000mg/kg, 2000mg/kgの区分には $\pm 100$ mg/kgを含む

図26 ガンマグロリン使用の有無別  
年齢別心後遺症の出現率

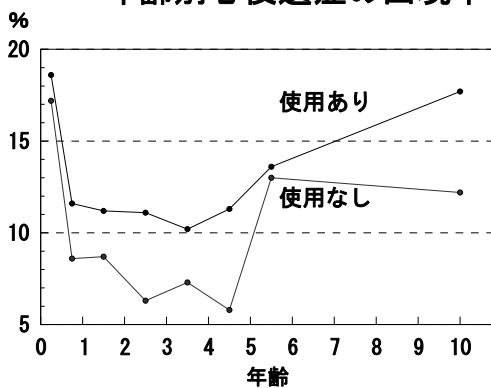
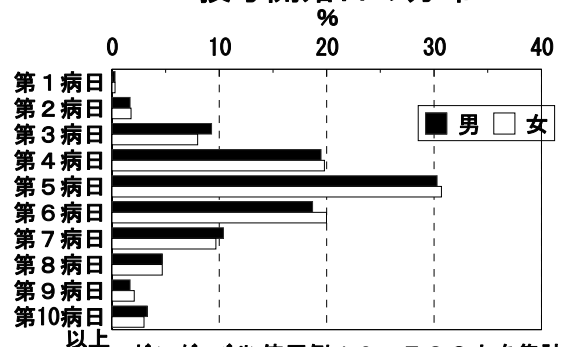
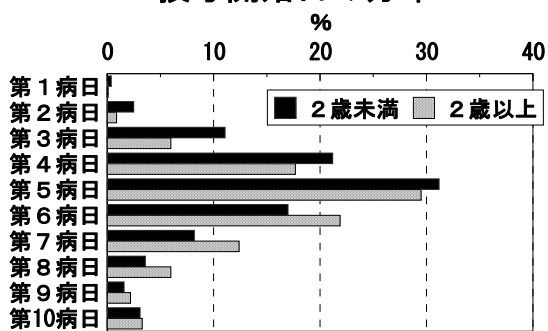


図27 性別、ガンマグロリン  
投与開始日の分布



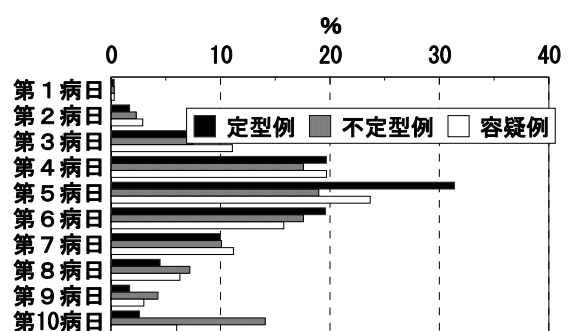
\*ガンマグロリン使用例10,783人を集計  
(開始日不明119人を除く)

図28 年齢別、ガンマグロリン  
投与開始日の分布



\*ガンマグロリン使用例10,783人を集計  
(開始日不明119人を除く)

図29 診断別、ガンマグロリン  
投与開始日の分布



\*ガンマグロリン使用例10,783人を集計  
(開始日不明119人を除く)

# 川崎病調査票 (第14回全国調査)

住所、電話番号の誤りは朱書にてご訂正下さい

送 送 先

〒329-04  
栃木県河内郡南河内町葉師寺3311-1  
自治医科大学公衆衛生学教室気付  
川崎病研究班疫学調査事務局  
(0285-44-2111, 内線3109, 3104)

1996.12 厚生省川崎病研究班作成

お願い

平成7年1月1日～平成8年12月31日の2年間に発症し、貴施設に受診した患者全員について記入して下さい。

1. 症例がない場合も「施設に関する質問」をご記入の上、必ず本調査票をご返送下さい。

2. 他施設へ紹介した患者、他施設から紹介された患者も含めます。

No.	ふりがな 患者氏名	発病時患者住所	性	生年月日	初診年月日	初診時 病日	診断の 確実度	ゴソグロリン投与(貴院分)		今回の発症 再発の場合	検査所見 (最低値)	同胞例	心 後 遺 症	
								投与開始 1日 mg/kg× 日	追加投与 1なし 2あり				後遺症ありの場合	死亡
		〒	1男 2女	昭・平 年 月 日	平成 年 月 日	病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 なし 2 あり	1日 追加投与 1なし 2あり	今回 初発時: 昭・平 年 月 日 再発時: 昭・平 年 月 日	血小板数 万/mm <sup>3</sup> 血清アルブミン g/dl	1 なし 2 あり	1. 巨大瘤 2. 瘤 3. 拡大 4. 狭窄 5. 心筋硬塞 6. 弁膜病変	1 なし 2 あり
		〒	1男 2女	昭・平 年 月 日	平成 年 月 日	病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 なし 2 あり	1日 追加投与 1なし 2あり	今回 初発時: 昭・平 年 月 日 再発時: 昭・平 年 月 日	血小板数 万/mm <sup>3</sup> 血清アルブミン g/dl	1 なし 2 あり	1. 巨大瘤 2. 瘤 3. 拡大 4. 狭窄 5. 心筋硬塞 6. 弁膜病変	1 なし 2 あり
		〒	1男 2女	昭・平 年 月 日	平成 年 月 日	病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 なし 2 あり	1日 追加投与 1なし 2あり	今回 初発時: 昭・平 年 月 日 再発時: 昭・平 年 月 日	血小板数 万/mm <sup>3</sup> 血清アルブミン g/dl	1 なし 2 あり	1. 巨大瘤 2. 瘤 3. 拡大 4. 狭窄 5. 心筋硬塞 6. 弁膜病変	1 なし 2 あり
		〒	1男 2女	昭・平 年 月 日	平成 年 月 日	病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 なし 2 あり	1日 追加投与 1なし 2あり	今回 初発時: 昭・平 年 月 日 再発時: 昭・平 年 月 日	血小板数 万/mm <sup>3</sup> 血清アルブミン g/dl	1 なし 2 あり	1. 巨大瘤 2. 瘤 3. 拡大 4. 狭窄 5. 心筋硬塞 6. 弁膜病変	1 なし 2 あり
		〒	1男 2女	昭・平 年 月 日	平成 年 月 日	病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 なし 2 あり	1日 追加投与 1なし 2あり	今回 初発時: 昭・平 年 月 日 再発時: 昭・平 年 月 日	血小板数 万/mm <sup>3</sup> 血清アルブミン g/dl	1 なし 2 あり	1. 巨大瘤 2. 瘤 3. 拡大 4. 狭窄 5. 心筋硬塞 6. 弁膜病変	1 なし 2 あり
		〒	1男 2女	昭・平 年 月 日	平成 年 月 日	病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 なし 2 あり	1日 追加投与 1なし 2あり	今回 初発時: 昭・平 年 月 日 再発時: 昭・平 年 月 日	血小板数 万/mm <sup>3</sup> 血清アルブミン g/dl	1 なし 2 あり	1. 巨大瘤 2. 瘤 3. 拡大 4. 狭窄 5. 心筋硬塞 6. 弁膜病変	1 なし 2 あり
		〒	1男 2女	昭・平 年 月 日	平成 年 月 日	病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 なし 2 あり	1日 追加投与 1なし 2あり	今回 初発時: 昭・平 年 月 日 再発時: 昭・平 年 月 日	血小板数 万/mm <sup>3</sup> 血清アルブミン g/dl	1 なし 2 あり	1. 巨大瘤 2. 瘤 3. 拡大 4. 狭窄 5. 心筋硬塞 6. 弁膜病変	1 なし 2 あり
		〒	1男 2女	昭・平 年 月 日	平成 年 月 日	病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 なし 2 あり	1日 追加投与 1なし 2あり	今回 初発時: 昭・平 年 月 日 再発時: 昭・平 年 月 日	血小板数 万/mm <sup>3</sup> 血清アルブミン g/dl	1 なし 2 あり	1. 巨大瘤 2. 瘤 3. 拡大 4. 狭窄 5. 心筋硬塞 6. 弁膜病変	1 なし 2 あり
		〒	1男 2女	昭・平 年 月 日	平成 年 月 日	病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 なし 2 あり	1日 追加投与 1なし 2あり	今回 初発時: 昭・平 年 月 日 再発時: 昭・平 年 月 日	血小板数 万/mm <sup>3</sup> 血清アルブミン g/dl	1 なし 2 あり	1. 巨大瘤 2. 瘤 3. 拡大 4. 狭窄 5. 心筋硬塞 6. 弁膜病変	1 なし 2 あり
		〒	1男 2女	昭・平 年 月 日	平成 年 月 日	病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 なし 2 あり	1日 追加投与 1なし 2あり	今回 初発時: 昭・平 年 月 日 再発時: 昭・平 年 月 日	血小板数 万/mm <sup>3</sup> 血清アルブミン g/dl	1 なし 2 あり	1. 巨大瘤 2. 瘤 3. 拡大 4. 狭窄 5. 心筋硬塞 6. 弁膜病変	1 なし 2 あり

**施設に関する質問** (本調査票を2枚以上使用の場合は1枚目にご記入下さい)

1. 貴院のベッド数はいくつですか。  
病院内 床 小児科一般病床 床 非常動小児科医 人

2. 貴院の小児科医は何人ですか。  
常動小児科医 人 非常動小児科医 人

3. 貴院では川崎病患者に対するゴソグロリンの基本的な投与方式を決めていますか。  
1 はい ( mg/kg× 日間)  
2 いいえ

4. 貴院では川崎病患者全員にゴソグロリンを投与しますか。  
1 全員  
2 一部の患者  
2の場合の選択基準 1 原田のスコアによる 2 その他 ( )

5. 貴院で川崎病患者に使用するゴソグロリン製剤の商品名 (主なもの一種類) は何ですか。  
商品名 \_\_\_\_\_

6. 貴院では平成8年1年間に小児の冠動脈造影を何例実施しましたか。(他施設で実施した例を除く)  
1 1-4例 2 5-9例 3 10-19例 4 20-49例  
5 50例以上 6 実施しない

**死亡例に関する質問** (今回の報告のみでなく、前回生存として報告され、後に死亡した例も含めて記入して下さい)

氏名(ふりがな)	性	生年月日	川崎病初診年月日	死亡年月日	剖検の有無	死亡原因等
	1 男 2 女	昭・平 年 月 日	昭・平 年 月 日	平成 年 月 日	1 なし 2 あり	
	1 男 2 女	昭・平 年 月 日	昭・平 年 月 日	平成 年 月 日	1 なし 2 あり	

↑ 該当するもの全「あり」のとき  
↓ 該当しないもの全「なし」のとき

↑ 発病1カ月以降に冠動脈拡大(動脈瘤を含む)、狭窄(閉塞を含む)、心筋梗塞または弁膜病変の認められるとき「あり」

↑ 6つの主要症状のうち、5つ以上の症状あり  
↓ 4つの症状しかないが、冠動脈瘤(拡大)を伴う容疑 : 診断の手引きに合致しないが、疑いがある

# 第14回全国調査協力施設名 (都道府県内順不同)

## 北海道：

国立療養所西札幌病院  
 国立函館病院  
 国立療養所道北病院  
 北大医学部附属病院  
 NTT札幌病院  
 札幌医科大学附属総合病院  
 道立札幌肢体不自由児総合療育センター  
 道立旭川肢体不自由児総合療育センター  
 道立紋別病院  
 道立羽幌病院  
 市立札幌病院  
 市立小樽病院  
 市立函館病院  
 千歳市立総合病院  
 市立三笠総合病院  
 国民健康保険町立栗沢病院  
 岩見沢市立総合病院  
 市立美瑛病院  
 歌志内市立病院  
 市立赤平総合病院  
 市立芦別病院  
 深川市立総合病院  
 市立旭川病院  
 名寄市立総合病院  
 北檜山町立国民健康保険病院  
 森町国民健康保険病院  
 市立室蘭総合病院  
 苫小牧市立総合病院  
 白老町立国民健康保険病院  
 町立芽室病院  
 市立釧路総合病院  
 市立根室病院  
 総合病院旭川赤十字病院  
 伊達赤十字病院  
 浦河赤十字病院  
 清水赤十字病院  
 総合病院釧路赤十字病院  
 済生会小樽北生病院  
 社会事業協会・富良野病院  
 社会事業協会・余市病院  
 岩内協会病院  
 社会事業協会・帯広病院  
 厚生連総合病院札幌厚生病院  
 厚生連総合病院旭川厚生病院  
 厚生連深厚生病院  
 厚生連総合病院倶知安厚生病院  
 厚生連総合病院遠軽厚生病院  
 北海道社会保険中央病院  
 国家公務員共済組合連合会斗南病院  
 様似医院  
 新日本製鉄室蘭総合病院  
 日鋼記念病院  
 函館五稜郭病院  
 函館中央病院  
 共愛会病院  
 天使病院  
 総合病院勤医協札幌病院  
 (社福)根室隣保院附属病院  
 幌東病院  
 (医社)仁生会 西堀病院  
 大原病院  
 札幌社会保健総合病院  
 国立療養所小樽病院  
 曾我病院  
 五輪橋産科婦人科小児科病院  
 ふかざわ病院  
 育愛会札幌東豊病院  
 札幌しらかば台病院  
 愛生マタニティクリニック  
 静仁会静内病院  
 慶愛病院  
 国立療養所帯広病院  
 自衛隊札幌病院  
 国家公務員共済組合連合会幌南病院  
 金谷病院  
 北海道立江差病院  
 今金町国保病院  
 (医療)博友会病院  
 旭川医科大学医学部附属病院  
 (財)小児愛育協会附属愛育病院  
 北海道療育園  
 (医療)聖愛会 発寒中央病院  
 勤医協中央病院  
 (医社)友愛会恵愛病院 精神科  
 (医療)使徒ルカ会手稲ルカ病院  
 道立小児総合保健センター  
 愛静病院

美唄労災病院  
 新雨竜病院  
 道北勤医協 一条通病院  
 (医社)上田病院  
 釧路労災病院  
 町立厚岸病院  
 小島病院  
 恵庭第一病院  
 市立土別総合病院  
 八雲総合病院  
 勤医協札幌北区病院  
 札幌マタニティホスピタル  
 医療法人徳洲会札幌徳洲会病院  
 医療法人社団信佑会 吉田病院  
 勤医協札幌西区病院  
 手稲溪仁会病院  
 (医療)翰林会 稲積公園病院  
 (医療法人)北晨会恵み野病院  
 豊岡中央病院  
 延山会苫小牧澄川病院  
 釧路市医師会病院  
 シロアムマタニティクリニック  
 斜里町国民健康保険病院

## 青森県：

国立弘前病院  
 青森県立中央病院  
 青森市民病院  
 八戸市立市民病院  
 黒石市国保黒石病院  
 国民健康保険鶴田町立中央病院  
 国民健康保険五所川原市立西北中央病院  
 公立金木病院  
 鯨ヶ沢町立中央病院  
 公立野辺地病院  
 公立七戸病院  
 十和田市立中央病院  
 むつ総合病院  
 国保三戸中央病院  
 八戸赤十字病院  
 鳴海病院  
 町立大鰐病院  
 青森県立はまなす学園  
 市立三沢病院  
 (医療)慈仁会 尾野病院  
 (医療)誠仁会 尾野病院  
 弘前市立病院  
 弘前中央病院  
 三榮病院 精神科  
 青森労災病院  
 国立療養所岩木病院  
 津軽保健生活協同組合健生病院  
 シルバー病院  
 美保野病院  
 財団法人仁和小鹿病院  
 医療法人正恵会石田温泉病院

## 岩手県：

岩手県立中央病院  
 岩手県立釜石病院  
 岩手県立宮古病院  
 岩手県立花巻厚生病院  
 岩手県立胆沢病院  
 岩手県立磐井病院  
 岩手県立高田病院  
 岩手県立大船渡病院  
 岩手県立一戸病院  
 盛岡市立病院  
 釜石市民病院  
 盛岡赤十字病院  
 北上済生会病院  
 (財)総合花巻病院  
 一関病院  
 盛岡友愛病院  
 宝陽病院  
 国立療養所盛岡病院  
 国療釜石病院  
 岩手県立山田病院  
 岩手県立北上病院  
 内丸病院  
 川久保病院  
 東八幡平病院

## 宮城県：

国療宮城病院  
 東北大学医学部附属病院  
 仙台通信病院  
 仙台市立病院

塩釜市立病院  
 公立気仙沼総合病院  
 公立志津川総合病院  
 公立刈田総合病院  
 公立佐沼総合病院  
 総合病院仙台赤十字病院  
 石巻赤十字病院  
 東北厚生年金病院  
 東北公済病院  
 仙台厚生病院  
 (財)宮城厚生協会坂総合病院  
 (医療)本多友愛会仙南病院  
 南東北病院  
 東北大加齢医学研究所附属病院  
 国療西多賀病院  
 仙台社保病院  
 光ヶ丘スベルマン病院  
 東北労災病院  
 自衛隊仙台病院  
 (財)宮城厚生協会 長町病院  
 宮城県拓桃医療療育センター  
 医療法人徳洲会仙台徳洲会病院  
 中嶋病院  
 仙塩総合病院  
 財団法人宮城厚生協会古川民主病院  
 公立米谷病院

## 秋田県：

大館市立総合病院  
 比内町立扇田病院  
 男鹿市立総合病院  
 秋田市立秋田総合病院  
 公立角館総合病院  
 秋田赤十字病院  
 鹿角組合総合病院  
 山本組合総合病院  
 湖東総合病院  
 秋田組合総合病院  
 平鹿総合病院  
 雄勝中央病院  
 (医療)愛生会 石田病院  
 中通病院  
 土崎病院  
 外旭川病院  
 医療法人青嵐会本荘第一病院  
 佐藤病院  
 秋田社会保健病院  
 公立米内沢総合病院  
 医療法人和成会今井病院  
 秋田県太平療育園  
 北秋中央病院  
 藤原記念病院

## 山形県：

山形県立中央病院  
 山形県立新庄病院  
 天童市立天童病院  
 山形市立病院済生館  
 鶴岡市立庄内病院  
 南陽市立総合病院  
 公立高島病院  
 長井市立総合病院  
 米沢市立病院  
 (医療)篠田好生会 篠田総合病院  
 寒河江市立病院  
 県立日本海病院  
 山形県立河北病院  
 山形大学医学部附属病院  
 鶴岡協立病院  
 順仁堂遊佐病院  
 国療山形病院  
 医療法人産婦人科小児科三井病院

## 福島県：

国立郡山病院  
 福島県立医科大学附属病院  
 福島県立会津総合病院  
 公立小野町地方総合病院  
 いわき市立総合磐城共立病院  
 いわき市立常磐病院  
 福島赤十字病院  
 済生会 福島総合病院  
 瑞厚生病院  
 坂下厚生総合病院  
 社保福島二本松病院  
 (財)大原総合病院  
 (財)太田総合病院附属太田熱海病院  
 (財)寿泉堂総合病院

(財) 穴沢病院  
(財) 竹林病院  
福島整肢療護園  
財団法人大原総合病院附属大原医療センター  
財団法人脳神経疾患研究所附属南東北病院  
新生会内科小児科佐藤病院  
小高町立病院  
国療福島病院  
福島県厚生農協組合連双葉厚生病院  
(財) 星総合病院  
(財) 松村総合病院  
(医療) 保科病院  
(社医) 呉羽総合病院  
医療法人慈久会 谷病院  
済生会川俣病院  
国立療養所翠ヶ丘病院  
中村病院  
医療生協わたり病院  
医療法人昨雲会飯塚病院附属有隣病院  
東北病院  
福島県心身障害児総合療育センター  
医療法人明信会今泉西病院  
公立相馬総合病院

**茨城県：**

国立水戸病院  
水戸済生会総合病院  
総合病院水戸協同病院  
国公共済連水府病院  
総合病院東京医科大学霞ヶ浦病院  
日鉦記念病院  
株式会社日立製作所多賀総合病院  
根本病院  
つくばセントラル病院  
医療法人慈愛会秋葉産婦人科小児科病院  
北友会勝田病院  
三和記念病院  
県立こども病院  
田中病院  
双葉会つくば双葉病院  
県西総合病院  
(医療) 愛宣会 秦病院  
株式会社日立製作所日立総合病院  
筑波大学附属病院  
茨城県立コロニーあすなろ病院  
(医療) 住吉クリニック病院  
(医療) 仁愛会 茅根病院  
(医療) 愛正会 田尻ヶ丘病院  
日立港病院  
(医療) 常仁会牛久愛和総合病院  
(財) 筑波学園病院  
友愛記念病院  
北茨城市立総合病院  
医療法人清真会丹野病院  
石岡市医師会病院  
財団法人筑波メディカルセンター病院  
きぬ医師会病院  
守谷慶友病院  
茨城西南医療センター病院  
国立療養所晴嵐荘病院

**栃木県：**

国立栃木病院  
小山市民病院  
栃木県県南総合病院  
大田原赤十字病院  
足利赤十字病院  
済生会 宇都宮病院  
上都賀総合病院  
下都賀総合病院  
石橋総合病院  
塩谷総合病院  
佐野厚生総合病院  
宇都宮社会保険病院  
古河記念病院  
国療東宇都宮病院  
福田記念病院  
真岡病院  
矢板南病院  
烏山台病院  
光南病院  
自治医科大学附属病院  
獨協医科大学病院第1、第2小児科  
上野病院  
黒須病院  
(医療) 明倫会 今市病院  
菅又病院  
(医療) 白澤病院  
栃木県身体障害医療福祉センター  
西方病院

**群馬県：**

国立高崎病院  
群馬大学医学部附属病院  
群馬県立がんセンター東毛病院  
桐生厚生総合病院  
多野総合病院  
碓氷病院  
伊勢崎市民病院  
館林厚生病院  
前橋赤十字病院  
原町赤十字病院  
社保群馬中央総合病院  
富士重工業健康保険組合総合太田病院  
利根中央病院  
北関東循環器病院  
上毛泌尿器科記念普衆会病院  
群馬循環器病院  
医療法人樹心会角田病院  
本島総合病院  
群馬県済生会 前橋病院  
前橋協立病院  
(医療) 慈光会 慈光会病院  
重症心身障害児施設はんなきさわらび療育園  
高木病院  
希望の家療育病院  
国療西群馬病院  
榛名荘病院  
群馬整肢療護園  
高崎中央病院  
太田福島総合病院  
北毛保健生活協同組合北毛病院  
下仁田厚生病院

**埼玉県：**

国立西埼玉中央病院  
国立埼玉病院  
蕨市立病院  
国保町立小鹿野中央病院  
春日部市立病院  
草加市立病院  
総合病院小川赤十字病院  
埼玉県済生会川口総合病院  
埼玉厚生農協連熊谷総合病院  
社保埼玉中央病院  
川口工業総合病院  
(医社) 東光会戸田中央総合病院  
(医療) 健仁会 益子病院  
(医療) ヘブロン会 大宮中央総合病院  
愛生会病院  
丸山記念総合病院  
指扇外科病院  
聖蹟会桶川 坂田病院  
医療法人宮崎病院  
所沢明生病院  
熊谷福島病院  
中田病院  
クリニック病院  
医療法人仁和会埼玉江南病院  
西武産婦人科小児科病院  
川口市立医療センター  
指扇病院  
ヘリオス会病院  
聖心会南古谷病院  
秩父市立病院  
本庄総合病院  
飯能中央病院  
(医療) 本庄 福島病院  
埼玉医科大学附属病院  
浦和市立病院  
国療東埼玉病院  
埼玉厚生連幸手総合病院  
(医社) 新座志木中央総合病院  
(医社) 協友会 吉川中央病院  
朝霞台中央総合病院  
(医療) 福寿会 埼玉草加病院  
防衛医科大学校病院  
(医療) 聖仁会 西部病院  
(医社) 東光会 戸田中央産院  
(医療) あかつき会 はとがや病院  
埼玉協同病院  
大宮市医師会 市民病院  
(医社) 青葉会 新座病院  
浅野病院  
(医療) 菅野総合病院  
(医療) 関越病院  
(医療) 武蔵野総合病院  
(医療) 誠壽会 上福岡総合病院  
日生病院  
埼玉県立寄居こども病院  
(医療) 光仁会 春日部厚生病院

(医社) 愛友会 三郷順心病院  
医療法人社団協友会東川口病院  
医療法人財団健和会みさと健和病院  
埼玉筑波病院  
医療法人ナトメック七里病院  
志木市立救急市民病院  
医療法人社団堀ノ内病院  
埼玉医科大学総合医療センター  
関本記念病院  
医療法人社団哺育会白岡中央病院  
医療法人光仁会春日部東部病院  
医療法人社団純真会せんげん台病院  
医療法人明晴会西武入間病院

**千葉県：**

国立千葉病院  
国立精神・神経センター国府台病院  
国療下志津病院  
国立習志野病院  
千葉大学医学部附属病院  
千葉県立佐原病院  
千葉県立東金病院  
千葉県立鶴舞病院  
浦安市市川市病院組合葛南病院  
国保松戸市立病院  
銚子市立総合病院  
総合病院国保旭中央病院  
国保八日市場市立病院  
公立長生病院  
総合病院国保成東病院  
成田赤十字病院  
社保船橋中央病院  
川崎製鉄健保組合千葉病院  
(医療) 鉄蕉会 亀田総合病院  
東京歯科大学市川総合病院  
みつわ台総合病院  
(財) 化学療法研究会化学療法研究所附属病院  
千葉西総合病院  
岬病院  
高根病院  
平和台病院  
柏陽光病院  
千葉県こども病院  
医療法人社団曙会流山中央病院  
東邦大学医学部附属佐倉病院  
野田病院  
倉本記念病院  
国保小見川総合病院  
国療千葉東病院  
千葉社会保険病院  
(医療) 鳳生会 藤立病院  
千葉県千葉リハビリテーションセンター  
(医社) 友康会 行徳中央病院  
市川東病院  
(医財) 明理会 新松戸中央病院  
国立佐倉病院  
(医社) 東光会 北総白井病  
(医社) 上総会 山之内病院  
千葉労災病院  
(医社) 勤労者医協 船橋二和病院  
(医社) 協友会 船橋病院  
(医社) 協友会 柏厚生病院  
東葛病院  
千葉市立海浜病院  
順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院  
新八柱台病院  
医療法人川崎病院  
船橋市立医療センター  
(医社) 愛友会 流山病院  
医療法人社団保健会谷津保健病院  
医療法人三矢会八街総合病院  
帝京大学医学部附属市原病院  
新都市医療研究会君津会玄々堂君津病院  
東京慈恵会医科大学附属柏病院  
医療法人静和会中山病院

**東京都：**

国立がんセンター中央病院  
国立国際医療センター  
国立小児病院  
国立大蔵病院  
国立東京第二病院  
東京大学病院  
東京医科歯科大学病院  
東京専売病院  
J R 東京総合病院  
東京通信病院  
自衛隊中央病院  
大蔵省印刷局東京病院  
都立駒込病院

都立墨東病院  
都立広尾病院  
東京都立大塚病院  
都立北療育医療センター  
都立豊島病院  
都立清瀬小児病院  
青梅市立総合病院  
日野市立総合病院  
稲城市立病院  
町田市市民病院  
公立昭和病院  
総合病院大森赤十字病院  
日本赤十字社医療センター  
葛飾赤十字産院  
武蔵野赤十字病院  
東京都済生会中央病院  
社保中央総合病院  
社保都南総合病院  
社保蒲田総合病院  
東京厚生年金病院  
東京船員保険病院  
虎の門病院  
総合病院三宿病院  
厚生中央病院  
東京警察病院  
三楽病院  
北里研究所病院  
永寿総合病院  
（財）日産厚生会 玉川病院  
（社）至誠会 第二病院  
練馬総合病院  
（財）仁和会総合病院  
（財）天誠会 武蔵境病院  
緑成会病院  
（医社）江東病院  
（医財）仁医会 牧田総合病院  
（医社）松井病院  
松和会 城南総合病院  
田園調布中央総合病院  
（医財）河北総合病院  
（医社）大成会 長汐病院  
（医社）慈誠会 上板橋病院  
（医社）野村慈豊会 桜台病院  
（医）西新井病院  
慈光会 堀切中央病院  
（医社）同愛会病院  
（医財）三鷹病院  
杏林大学病院  
日本医科大学第一病院  
日本大学駿河台病院  
東京慈恵会医科大学病院  
東京女子医科大学病院  
慶心義塾大学病院  
東京医科大学病院  
日本医科大学病院  
順天堂大学附属順天堂医院  
昭和大学病院  
東邦大学 大橋病院  
東邦大学 大森病院  
東京女子医科大学 第2病院  
日本大学 附属板橋病院  
慈恵医科大学 青戸病院  
慈恵医科大学 附属病院第3病院  
東京電力病院  
小平記念東京日立病院  
東芝病院  
三井記念病院  
母子愛育会附属愛育病院  
（社福）聖母会 聖母病院  
浅草寺病院  
（社福）賛育会 賛育会病院  
同愛記念病院  
（社福）あそか会 あそか病院  
久我山病院  
東京医療生協組合 中野総合病院  
立正佼成会 附属佼成病院  
東京衛生病院  
（社福）勝楽堂病院  
（社福）慈生会 慈生会病院  
（社福）日本心身障害者協会  
島田療育センター  
（社福）鶴風会東京小児療育病院  
南台病院  
（医社）博栄会 赤羽中央病院  
（医社）陽和会 西窪病院  
（医社）時正会 佐々総合病院  
医療法人社団赤仁会市川第二病院  
太陽こども病院  
医療法人社団日心会総合病院一心病院  
りんご会東十条病院

まつしま産婦人科小児科病院  
（財）東京都保健医療公社多摩南部地域病院  
小金井太陽病院  
東京都職員共済組合 青山病院  
（医財）健康文化会 小豆沢病院  
緑風荘病院  
世田谷下田総合病院  
森本病院  
都立府中病院  
板橋区医師会病院  
中野共立病院  
レニア会 武谷病院  
（医財）西武中央病院  
日本医科大学 多摩摩山病院  
（医社）北病院  
秋津療育園  
（社福）聖ヨハネ会総合病院桜町病院  
都立八王子小児病院  
東京健生病院  
（医社）瑞心会 西荻中央病院  
（医社）板橋中央総合病院  
（医社）水野病院  
東京医科大学八王子医療センター  
八王子山王病院  
東光会 戸田中央総合病院分院第一病院  
国立精神神経センター武蔵病院  
社団青葉会 一橋病院  
熊川病院  
医療法人社団健生会立川相互病院  
医療法人社団誠和会白鬚橋病院  
東京労災病院  
王子生協病院  
心身障害児総合医療療育センター  
日本大学医学部附属練馬が丘病院  
町田病院  
国立病院東京災害医療センター小児科

**神奈川県：**

国立横浜病院  
国立横須賀病院  
国立相模原病院  
国療神奈川病院  
神奈川県立足柄上病院  
横浜市立港湾病院  
横浜市立大学医学部附属浦舟病院  
横浜市立市民病院  
川崎市立川崎病院  
平塚市民病院  
茅ヶ崎市立病院  
小田原市立病院  
三浦市立病院  
大和市立病院  
横浜赤十字病院  
津久井赤十字病院  
相模原協同病院  
社保横浜中央病院  
健保総合 川崎中央病院  
住友重機械健保組合 浦賀病院  
国公共済連横浜南共済病院  
国公共済連総合病院横須賀共済病院  
国公共済連 稲田登戸病院  
国公共済連総合病院横須賀北部共済病院  
（財）神奈川県警友会けいゆう病院  
（医療）柏堤会 戸塚共立病院  
平和病院  
京浜総合病院  
総合川崎臨港病院  
（医療）愛仁会 太田総合病院  
（医社）亮正会総合高津中央病院  
（株）日立製作所 戸塚総合病院  
国際親善総合病院  
総合病院 聖ヨゼフ病院  
（社福）日本医療伝道会総合病院衣笠病院  
（社福）湘南福祉協会 総合病院湘南病院  
総合相模更生病院  
仁厚会病院  
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院  
中央林間病院  
医療法人産育会堀病院  
湘南鎌倉病院  
横浜市愛児センター  
石田産婦人科病院  
相模原療育園  
新横浜母と子の病院  
横浜市立大学医学部附属病院  
三喜会横浜新緑病院  
国立横浜東病院  
関東労災病院  
横浜市小児アレルギーセンター  
総合病院秦野赤十字病院

厚生農協連総合病院伊勢原協同病院  
国公共済連 虎の門病院分院  
（社団）日本厚生団 長津田厚生総合病院  
総合病院横浜通信病院  
藤沢市民病院  
（財）横浜勤労者福祉協会汐田総合病院  
小澤病院  
小林病院  
昭和大学 藤が丘病院  
聖マリアンナ医科大学病院  
北里大学病院  
帝京大学 溝口病院  
川崎医療生協 川崎協同病院  
神奈川県リハビリテーション病院  
済生会 横浜市南部病院  
（医社）明芳会横浜旭中央総合病院  
神奈川県衛生看護専門学校 附属病院  
（医社）青葉会 牧野記念病院  
恒春会 馬嶋病院  
（医療）誠医会 宮川病院  
横須賀市立市民病院  
恩賜財団済生会 平塚病院  
相模原中央病院  
（医療）徳洲会 大和徳洲会病院  
桜ヶ丘中央病院  
（医療）徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院  
（医社）仁愛会 海老名総合病院  
医療法人社団成仁会長田病院  
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院  
鶴ヶ峰病院  
医療法人社団緑成会横浜総合病院  
医療法人財団石心会川崎幸病院  
川崎市立井田病院  
新中川病院  
国立小児病院二宮分院  
医療法人社団柏綾会綾瀬厚生病院

**新潟県：**

国立療養所新潟病院  
新潟大学医学部附属病院  
新潟県立がんセンター新潟病院  
新潟県立新発田病院  
新潟県立吉田病院  
新潟県立小出病院  
新潟県立十日町病院  
水原郷病院  
巻町国保病院  
済生会 新潟病院  
済生会 三条病院  
豊栄病院  
三条総合病院  
長岡中央総合病院  
栃尾郷病院  
魚沼病院  
上越総合病院  
糸魚川総合病院  
佐渡総合病院  
小千谷総合病院  
上村病院  
新潟県厚生農業協同組合連合会中条病院  
済生会新潟第二病院  
県立妙高病院  
新潟市民病院  
聖園病院  
宮内クリニック  
新潟南病院  
木戸病院  
新潟こぼり病院  
南部郷総合病院  
新潟県はまぐみ小児療育センター  
国民健康保険町立ゆきぐに大和総合病院  
新潟県立坂町病院  
国立療養所西新潟病院  
舟江病院  
長岡療育園

**富山県：**

富山市立富山市市民病院  
黒部市民病院  
上市厚生病院  
新湊市民病院  
市立礪波総合病院  
富山赤十字病院  
富山県済生会 高岡病院  
厚生連高岡病院  
厚生連滑川病院  
社会保険 高岡病院  
高木総合病院  
公立学校共済組合北陸中央病院  
国療北陸病院

公立井波総合病院  
国療富山病院  
氷見市民病院  
富山医科薬科大学附属病院  
あさひ総合泊病院  
医療法人社団翠十字会誠友病院  
富山医療生活協同組合富山協立病院  
八尾総合病院

**石川県：**

国立金沢病院  
国立山中病院  
金沢大学医学部附属病院  
石川県立中央病院  
金沢市立病院  
国保小松市民病院  
公立加賀中央病院  
町立富来病院  
国保輪島病院  
金沢赤十字病院  
公立松任石川中央病院  
公立鶴来総合病院  
社保鳴和総合病院  
国公共済連 北陸病院  
金沢聖霊総合病院  
蓮井小児科病院  
恵寿総合病院  
恵愛病院  
公立羽咋病院  
浅ノ川総合病院  
国療医王病院  
国保町立根上総合病院  
国保珠州市総合病院  
城北病院  
金沢医科大学病院  
石川整肢学園  
金沢西病院  
国療七尾病院  
国療石川病院  
公立穴水総合病院  
公立宇出津総合病院

**福井県：**

国立療養所福井病院  
国立鯖江病院  
福井県立病院  
町立三国病院  
市立敦賀病院  
公立小浜病院  
福井赤十字病院  
福井県済生会病院  
社保勝山病院  
(財)今立中央病院  
(医療)安川病院  
国立療養所北潟病院  
福井循環器病院  
(医療)福井愛育病院  
総合病院福井厚生病院  
産婦人科・小児科玉井病院

**山梨県：**

山梨県立中央病院  
韮崎市立病院  
富士吉田市立病院  
巨摩共立病院  
加納岩総合病院  
塩山病院  
都留市立病院  
山梨赤十字病院  
国療西甲府病院  
甲府共立病院  
上野原町立病院  
山梨医科大学  
市川大門町立病院  
三枝病院

**長野県：**

国立東信病院  
国立松本病院  
国療東長野病院  
長野県立阿南病院  
長野県立木曾病院  
佐久町立千曲病院  
諏訪中央病院  
伊那中央総合病院  
市立大町総合病院  
諏訪赤十字病院  
下伊那赤十字病院  
豊科赤十字病院  
長野赤十字病院

長野県厚生農協連 佐久総合病院  
長野県厚生農協連 安曇病院  
長野県厚生農協連 北信総合病院  
長野県厚生農協連 新町病院  
(医療)慈泉会 相澤病院  
長野中央病院  
(医療)平成会 小島病院  
N T T長野病院  
(医療)聖徳会 西軽井沢病院

飯田病院  
国療中信松本病院  
長野県厚生農協連 小諸厚生総合病院  
丸子中央総合病院  
飯田市立病院  
城西病院  
国保依田窪病院  
長野県厚生農業組合連合会篠ノ井総合病院  
医療法人新生病院  
長野松代総合病院  
健和会病院  
波田総合病院  
松本協立病院

**岐阜県：**

国療恵那病院  
岐阜県立多治見病院  
羽島市民病院  
国保関ヶ原病院  
大垣市民病院  
美濃市立美濃病院  
白鳥町国保白鳥病院  
土岐市立総合病院  
総合病院中津川市民病院  
金山町国保金山病院  
総合病院 高山赤十字病院  
岐阜県厚生農協連 養老中央病院  
岐阜県厚生農協連 揖斐総合病院  
岐阜県厚生農協連 総合病院中濃病院  
岐阜県厚生農協連 総合病院昭和病院  
健保東濃病院  
公立学校共済組合 東海中央病院  
郡上広域行政事務組合郡上中央病院  
博愛会総合病院  
木沢記念病院  
みどり病院  
海津郡医師会病院  
産科婦人科小児科小川病院  
医療法人藤掛病院  
県立希望ヶ丘学園  
岐阜県立下呂温泉病院  
国保神岡町病院  
国療岐阜病院  
(医社)誠広会 平野総合病院  
国保坂下病院  
岐阜赤十字病院  
医療法人社団友愛会岩砂病院第1  
河村病院  
医療法人白水会白川病院  
岐阜県厚生連久美愛病院

**静岡県：**

国立静岡病院  
国立熱海病院  
国立東静岡病院  
国立浜松病院  
国療天竜病院  
伊豆通信病院  
静岡県立総合病院  
静岡市立静岡病院  
沼津市立病院  
富士市立中央病院  
清水市立病院  
藤枝市立総合病院  
焼津市立総合病院  
市立島田市民病院  
共立菊川総合病院  
公立森町病院  
磐田市立総合病院  
袋井市立袋井市民病院  
共立湖西総合病院  
総合病院 静岡赤十字病院  
伊豆赤十字病院  
中駿赤十字病院  
総合病院 浜松赤十字病院  
静岡済生会総合病院  
総合病院 静岡厚生病院  
総合病院 清水厚生病院  
遠州総合病院  
県西部浜松医療センター  
聖隷福祉事業団総合病院 聖隷三方原病院

豊岡会はまなこ病院  
日本大学医学部付属稲取病院  
社保三島病院  
国立湊病院  
(社)有隣厚生会 富士病院  
浜松医科大学附属病院  
国療静岡東病院  
浜松労災病院  
社保桜ヶ丘総合病院  
社会保険浜松病院  
浜松北病院  
みなみ病院  
駿東第一病院  
町立浜岡病院  
引佐赤十字病院

**愛知県：**

国立名古屋病院  
国立豊橋病院  
国療中部病院  
名古屋大学病院  
名古屋通信病院  
名古屋市立東市民病院  
名古屋市立城西病院  
名古屋市立大学病院  
豊橋市民病院  
市立岡崎病院  
市立半田病院  
豊川市民病院  
津島市民病院  
公立尾陽病院  
蒲郡市民病院  
常滑市民病院  
新城市民病院  
名古屋第一赤十字病院  
名古屋第二赤十字病院  
海南病院  
愛知県厚生農協連 更生病院  
愛知県厚生農協連 昭和病院  
愛知県厚生農協連 渥美病院  
社保中京病院  
名鉄病院  
東海病院  
名城病院 小児循環器科  
名古屋掖済会病院  
(財)名港福厚協会 臨港病院  
笠寺病院  
総合大雄会病院  
刈谷総合病院  
(医療)光生会病院  
三菱名古屋病院  
トヨタ記念病院  
聖霊会 聖霊病院  
愛知県立第二青い鳥学園  
偕行会 名古屋共立病院  
清慈会 鈴木病院  
心正会 鈴木小児科  
秋田病院  
名南病院  
一心会加藤産婦人科病院  
名古屋市立緑市民病院  
東海産業医療団中央病院  
清水会 相生山病院  
中部労災病院  
N T T東海総合病院  
南生協病院  
藤田保健衛生大学病院  
愛知医科大学病院  
愛知県コロニーこぼと学園  
愛知県コロニー中央病院  
福祉会 高須病院  
(医療)宝美会 総合青山病院  
(医療)志聖会 犬山中央病院  
愛知県厚生農協連 尾西病院  
(医療)済衆館病院  
愛知県厚生農協連 知多厚生病院  
旭労災病院  
医療法人財団新和会八千代病院  
小嶋病院  
医療法人幸会南陽病院  
国立療養所豊橋東病院  
一宮市立市民病院今伊勢分院  
医療法人青山病院  
医療法人宏和会山口病院  
医療法人徳洲会名古屋徳洲会病院  
高浜市立病院

**三重県：**

国療鈴鹿病院  
三重県立総合医療センター

三重大学病院  
三重県立一志病院  
桑名市民病院  
市立四日市病院  
(総合病院) 松阪市民病院  
市立伊勢総合病院  
尾鷲総合病院  
紀南病院  
山田赤十字病院  
済生会松阪総合病院  
三重県厚生連 松阪中央総合病院  
社保羽津病院  
(財) 四日市港湾福利厚生協会築港病院  
山本総合病院  
三重県厚生連 鈴鹿中央総合病院  
国療三重病院  
慶応大学伊勢慶応病院  
上久保整形外科クリニック  
医療法人ヨナハ病院  
鈴鹿回生総合病院

**滋賀県：**

大津市民病院  
近江八幡市民病院  
彦根市立病院  
市立長浜病院  
伊香郡病院組合立湖北総合病院  
公立高島総合病院  
長浜赤十字病院  
済生会滋賀県病院  
重症心身障害児施設第一びわこ学園  
誠光会草津中央病院  
蒲生町国保蒲生町病院  
重身心身障害児施設(社福)第二びわこ学園  
国立八日市病院  
(医療) 彦根中央病院  
守山市民病院  
滋賀医科大学病院  
滋賀県立小児保険医療センター  
野洲病院  
医療法人弘英会 琵琶湖大橋病院  
日野記念病院  
友仁山崎病院

**京都府：**

市立福知山市民病院  
京都大学病院  
京都専売病院  
京都市立病院  
公立南丹病院  
市立舞鶴市民病院  
京都第二赤十字病院  
京都第一赤十字病院  
舞鶴赤十字病院  
済生会 京都府病院  
社会保険京都病院  
舞鶴共済病院  
総合病院 日本パプテスト病院  
(社) 愛生会 山科病院  
堀川病院  
総合病院 京都市南病院  
富田病院  
(社福) 宇治病院  
国療南京都病院  
西京都病院  
国療宇多野病院  
京都通信病院  
京都武田病院  
京都社会事業財団 京都桂病院  
関西医科大学男山病院  
(医療) 育生会 久野病院  
宮崎神経科嵯峨病院  
公立山城病院  
(社福) 聖ヨゼフ会 聖ヨゼフ整肢園  
蘇生会総合病院  
関西医科大学附属洛西ニュータウン病院  
(医療) 仁心会 宇治川病院  
(医療) 宇治徳洲会病院  
(医療) 啓信会 京都木津川病院  
(医療) 医誠会 富士原病院  
武田病院  
金井病院  
社団法人京都保健会京都民医連中央病院  
恵仁会 なぎ辻病院  
京都市桃陽病院  
第一岡本病院  
医療法人和松会六地藏総合病院  
私立京都八幡病院  
医療法人亀岡病院  
花ノ木医療福祉センター

京都府立医大小児疾患研究施設内科部門

**大阪府：**

国立大阪南病院  
大阪大学医学部附属病院  
大阪通信病院  
大阪鉄道病院  
大阪府立病院  
大阪市立十三市民病院  
大阪市立住吉市民病院  
市立池田病院  
市立豊中病院  
大阪市立弘済院附属病院  
市立枚方市民病院  
八尾市立病院  
泉大津市立病院  
市立岸和田市民病院  
市立貝塚病院  
市立泉佐野病院  
大阪赤十字病院  
済生会 中津病院  
大阪府済生会 泉尾病院  
済生会野江病院  
済生会 吹田病院  
済生会 茨木病院  
大阪厚生年金病院  
大食連健保長堀病院  
松下記念病院  
大手前病院  
新香里病院  
住友病院  
大阪掖済会病院  
聖バルナバ病院  
(財) 第一病院 (労働衛生センター)  
(財) 西淀病院  
浅香山病院  
(医療) きっこう会 総合病院多根病院  
彰療会 大正病院  
景岳会総合病院 南大阪病院  
同仁会 耳原総合病院  
宝生会 P L 病院  
大阪医科大学病院  
関西医科大学病院  
関西電力病院  
大阪暁明館病院  
大阪回生病院  
淀川キリスト教病院  
千里保健医療センター新千里病院  
真美会 中野こども病院  
寺西報恩会 長吉総合病院  
野田記念病院  
田中会田中病院  
医誠会撰津医誠会病院  
医療法人東和会病院  
牧岡病院  
野上病院  
朋愛会 サンタマリア病院  
錦秀会 阪和住吉総合病院  
大阪市立総合医療センター小児循環器内科  
至道会伊藤病院  
三上会総合病院東香里病院  
白卯会白井病院  
市立柏原病院  
大阪赤十字病院附属大手前整肢学園  
大阪第二警察病院  
仙養会 北摂病院  
有恵会 有沢総合病院  
国立泉北病院  
国立循環器病センター  
市立松原病院  
和泉市立病院  
高槻赤十字病院  
星ヶ丘厚生年金病院  
愛仁会 千船病院  
清恵会病院  
サヂカム会 三国丘病院  
岸和田徳洲会病院  
友隣会 協立病院  
(医療) 有恵会 香里ヶ丘有恵会病院  
枚方療育園  
愛仁会 高槻病院  
近畿大学医学部附属病院  
大阪社会医療センター附属病院  
温心会 堺温心会病院  
大阪府済生会 富田林病院  
信愛会 交野病院  
大阪府立羽曳野病院  
結核予防会大阪府支部大阪病院  
(医療) 公道会病院  
誠会 城東中央病院

大道会 ポバース記念病院  
協和会 北大阪病院  
錦秀会 阪和泉北病院  
以和貴会 北条病院  
大阪府立身体障害者福祉センター病院  
箕面市立病院  
茨木医誠会病院  
信愛会 新生病院  
祐生会 みどりヶ丘病院  
守口敬任会病院  
東大阪生協病院  
大阪府立母子保健総合医療センター  
阪南市立病院  
新金岡豊川総合病院  
医誠会病院  
同友会 共和病院  
愛替会 浜田病院  
紀和会 正風病院  
生長会 ベルランド総合病院  
市立藤井寺市民病院  
青山病院  
大植会 葛城病院  
孟仁会 摂南総合病院

**兵庫県：**

国立姫路病院  
神戸大学病院  
関西労災病院  
兵庫県立尼崎病院  
兵庫県立塚口病院  
兵庫県立淡路病院  
兵庫県立西宮病院  
兵庫県立加古川病院  
明石市立市民病院  
市立三木市民病院  
公立豊岡病院  
西宮市立中央病院  
加古川市民病院  
市立川西病院  
市立伊丹病院  
公立八鹿病院  
高砂市民病院  
赤穂市民病院  
市立西脇病院  
三田市民病院  
姫路赤十字病院  
柏原赤十字病院  
社保神戸中央病院  
国公共済連 六甲病院  
公学共済 近畿中央病院  
医療法人財団 神戸海星病院  
神戸掖済会病院  
総合病院 昭和病院  
(医療) 明和病院  
宝塚病院  
神鋼病院  
三菱神戸病院  
鐘紡記念病院  
石川島播磨重工業健保組合播磨病院  
丸山病院  
枚方療育園さくら療育園  
神戸赤十字病院  
(医療) 一葉会 佐用共立病院  
砂子療育園  
西宮回生病院  
自衛隊 阪神病院  
兵庫県立こども病院  
公立社病院  
公文病院  
兵庫医科大学病院  
(医療) 尚和会 第一病院  
須磨赤十字病院  
尼崎医療生協病院  
(医療) 協和会協立病院  
(医療) 晋真会) ベリタス病院  
国立加古川病院  
神鋼加古川病院  
仙齡会 はりま病院  
公立神崎総合病院  
兵庫県立柏原病院  
国立篠山病院  
東神戸病院  
国立神戸病院  
兵庫県立のじぎく療育センター  
市立加西病院  
神戸朝日病院  
医療法人慈恵会 新須磨病院  
神戸徳洲会病院  
神戸アドベントリスト病院  
医療法人 パルモア病院

みどり病院  
宝塚市立病院  
医療法人順心会 順心病院  
中町赤十字病院  
医療法人伯鳳会 赤穂中央病院  
公立浜坂病院  
平成病院  
西神戸医療センター

**奈良県：**

国立奈良病院  
奈良県立医科大学病院  
榛原町立榛原総合病院  
大和高田市立病院  
吉野町国保吉野病院  
町立大淀病院  
済生会 奈良病院  
奈良社会保険病院  
天理よろづ相談所病院  
土庫病院  
香芝旭ヶ丘病院  
奈良県心身障害者リハビリテーションセンター  
国療西奈良病院  
奈良県立奈良病院  
高の原中央病院  
奈良県立三室病院  
東生駒病院  
済生会御所病院  
東大寺整肢園  
清心会 桜井病院  
友誼会病院

**和歌山県：**

和歌山県立医科大学病院  
和歌山県立医科大学病院紀北分院  
海南市民病院  
国保那賀病院  
国保橋本市民病院  
有田市立病院  
国保日高総合病院  
社保紀南総合病院  
国保古座川病院  
総合病院新宮市立市民病院  
日本赤十字社和歌山医療センター  
済生会 有田病院  
医療法人共栄会名手病院  
榎本病院  
国療和歌山病院  
那智勝浦町立温泉病院  
労働福祉事業団 和歌山労災病院  
和歌山生協病院  
医療法人千徳会桜ヶ丘病院

**鳥取県：**

国立米子病院  
鳥取大学病院  
鳥取県立中央病院  
鳥取県立厚生病院  
鳥取市立病院  
国保智頭病院  
鳥取赤十字病院  
鳥取県済生会 境港総合病院  
日野郡厚生農協連 日野病院  
博愛病院  
鳥取生協病院  
西伯町国民健康保険西伯病院

**島根県：**

国立大田病院  
国立浜田病院  
島根県立中央病院  
公立雲南総合病院  
松江赤十字病院  
済生会 江津総合病院  
津和野共存病院  
鹿島病院  
平成記念病院  
町立広瀬病院  
島根医科大学病院  
国療松江病院  
安来第一病院  
島根整肢学園  
松江記念病院  
益田地域医療センター医師会病院

**岡山県：**

国立岡山病院  
総合病院 岡山市立市民病院  
倉敷市立児島市民病院  
市立井原市民病院

総合病院 岡山赤十字病院  
川崎医科大学附属川崎病院  
(財)倉敷中央病院  
(財)弘仁会 総合病院玉島病院  
総合病院 津山中央病院  
(医)水会和 水島中央病院  
総合病院 落合病院  
総合病院 岡山協立病院  
総合病院 水島協同病院  
金田病院  
倉敷平成病院  
玉島協同病院  
さとう記念病院  
岡村一心堂病院  
平病院  
同仁会 金光病院  
旭川児童院  
美作中央病院  
川崎医科大学病院  
国療南岡山病院  
重井医学研究所附属病院  
川鉄水島病院  
和香会 倉敷廣済病院  
笠岡第一病院  
岡山労災病院  
倉敷北病院  
造山会 まきび病院

**広島県：**

国立福山病院  
国療広島病院  
広島大学病院  
広島鉄道病院  
広島通信病院  
県立広島病院  
県立安芸津病院  
社保広島市民病院  
世羅中央病院  
公立三次中央病院  
広島赤十字・原爆病院  
総合病院 三原赤十字病院  
総合病院 庄原赤十字病院  
広島厚生連農協 尾道総合病院  
厚生連 広島総合病院  
広島県厚生農協連 吉田総合病院  
日立造船健保因島総合病院  
広島記念病院  
呉共済病院  
中国電力株式会社 中電病院  
総合病院 三菱三原病院  
マツダ株式会社 マツダ病院  
呉芸南病院  
済生会広島病院  
真愛病院  
国療賀茂病院  
尾道市立市民病院  
西条中央病院  
日本鋼管福山病院  
広島市立舟入病院  
福山市市民病院  
広島医療生協広島共立病院  
ワカサ病院  
広島市立安佐市民病院  
中国労災病院  
県立身体障害者リハビリテーションセンター  
公立学校共済組合 中国中央病院  
総合病院三愛  
多田病院  
三原市医師会病院  
公立みつぎ総合病院  
あかね会 土谷総合病院  
光仁会 梶川病院  
うすい会 高陽ニュータウン病院  
一陽会 原田病院  
松田病院  
樹章会 本永病院  
里仁会 興生総合病院

**山口県：**

国立下関病院  
国立岩国病院  
国立山口病院  
山口大学病院  
山口県立中央病院  
下関市立中央病院  
総合病院 光市立病院  
小野田市立病院  
山陽中央総合病院  
共立美東国保病院  
総合病院 山口赤十字病院

済生会 下関総合病院  
小郡第一総合病院  
長門総合病院  
社保下関厚生病院  
社保徳山中央病院  
オプンスタム徳山医師会病院  
神徳会 三田尻病院  
山口労災病院  
国療山陽荘病院  
同仁会 徳山記念病院  
都志見病院  
元洋会 森山病院  
松涛会 安岡病院  
国療柳井病院  
済生会 山口総合病院  
宇部興産 中央病院  
大和病院  
緑山会 鹿野博愛病院  
治徳会 湯野温泉病院  
宇部協立病院

**徳島県：**

国立徳島病院  
徳島大学病院  
徳島県立中央病院  
徳島県立三好病院  
徳島市民病院  
町立半田病院  
国保勝浦病院  
小松島赤十字病院  
阿南共栄病院  
厚生連 麻植協同病院  
健保鳴門病院  
道志社リハビリテーション大神子病院  
徳島県立海部病院  
阿波病院  
博愛記念病院  
徳島県立ひのみね整肢医療センター  
ひのみね学園  
田中病院

**香川県：**

国立善通寺病院  
香川県立中央病院  
大川総合病院  
土庄町国保土庄中央病院  
高松赤十字病院  
屋島総合病院  
滝宮総合病院  
社保栗林病院  
麻田総合病院  
国療香川小児病院  
香川県済生会病院  
香川県立白鳥病院  
坂出聖マルチン病院  
香川医科大学病院  
高松平和病院  
大樹会総合病院 回生病院  
井下病院

**愛媛県：**

国療愛媛病院  
愛媛県立中央病院  
愛媛県立今治病院  
愛媛県立伊予三島病院  
県立北宇和病院  
愛媛県立南宇和病院  
町立野村病院  
市立宇和島病院  
町立吉田総合病院  
総合病院松山赤十字病院  
西条中央病院  
住友別子病院  
新居浜協立病院  
高岡眼科・小児科診療所  
公立学校共済組合四国中央病院  
愛媛労災病院  
更生会 村上記念病院  
公立周桑病院  
愛媛県立新居浜病院  
北辰会 まなべ病院  
済生会今治病院  
美須賀病院

**高知県：**

国立高知病院  
高知県立中央病院  
高知県立宿毛病院  
仁淀地区国保組合病院  
高知市立市民病院



土佐市立土佐市民病院  
佐川町立高北国保病院  
高知県農協総合病院  
須崎くろしお病院  
聖真会 渭南病院  
山本病院  
高知県立西南病院  
新松田会 愛宕病院  
島本病院  
第1希望の家  
(医療) 仁生会 三愛病院  
高知医科大学病院  
国療東高知病院  
(医療) 高田会 高知記念病院  
長生会 大井田病院

**福岡県：**

国立小倉病院  
国立病院九州医療センター  
国療南福岡病院  
国療福岡東病院  
久留米大学医療センター小児科  
九州大学病院  
福岡通信病院  
福岡県立柳川病院  
北九州市立門司病院  
北九州市立医療センター  
北九州市立若松病院  
北九州市立八幡病院  
北九州市立戸畑病院  
大牟田市立総合病院  
町立額田病院  
田川市立病院  
筑後市立病院  
八女公立病院  
福岡赤十字病院  
筑前山田赤十字病院  
福岡県済生会 福岡総合病院  
九州厚生年金病院  
新小倉病院  
浜の町病院  
公立学校共済 九州中央病院  
福岡記念病院  
聖マリア病院  
久留米大学病院  
三井大牟田病院  
社保小倉記念病院  
宗像医師会病院  
福岡青洲会病院  
南大牟田病院  
水北第一病院  
やまびこ学園  
宗像水光会総合病院  
日新会 久留米記念病院  
みさき病院  
筑豊労災病院  
千早病院  
恵光会 原病院  
森本病院  
小西第一病院  
国立病院九州がんセンター  
聖ヨゼフ園  
慈恵曽根病院  
正信会 水戸病院  
ゆうかり学園  
町立芦屋中央病院  
福岡大学病院  
福岡市立こども病院・感染症センター  
米の山病院  
徳洲会 福岡徳洲会病院  
太刀洗病院  
牧山中央病院  
甘木朝倉医師会病院  
(医療) 敬天会 東和病院  
福岡市民病院  
寺沢病院  
和白病院  
大牟田共立病院  
菅原病院  
三池病院  
水巻共立病院  
健和会京町病院  
福岡県立粕屋新光園  
井上会 篠栗病院  
福岡大学筑紫病院  
糸田町立緑ヶ丘病院  
社会保険田川病院

**佐賀県：**

国立佐賀病院

佐賀県立病院 好生館  
伊万里市立市民病院  
佐賀社会保険病院  
ひらまつ病院  
国療東佐賀病院  
社保浦之崎病院  
国立肥前療養所  
佐賀医科大学病院  
清明会 鹿毛病院  
静便堂 白石共立病院  
溝上病院  
至慈会 高島病院  
江口病院

**長崎県：**

国立長崎中央病院  
国立小浜病院  
長崎大学病院  
長崎市立市民病院  
佐世保市立総合病院  
大村市立病院  
北松中央病院  
壱岐公立病院  
健保諫早総合病院  
佐世保共済病院  
長崎記念病院  
小江原中央病院  
敬仁会 松浦病院  
長崎造船所病院  
柴田長庚堂病院  
愛野記念病院  
博愛会 哲翁病院  
長崎原爆病院  
池田病院  
国療長崎病院  
日本海員救済会 長崎病院  
聖家族会みさかえの園むつみの家  
長崎県立島原温泉病院  
江迎病院  
長崎県済生会病院  
みさかえの園あゆみの家  
対馬いづはら病院  
田上病院  
平成会 女の都病院  
赤木病院  
上五島病院

**熊本県：**

国立熊本病院  
国療再春荘病院  
N T T九州病院  
自衛隊熊本病院  
熊本市市民病院  
菊水町立病院  
小国公立病院  
水俣市立総合医療センター  
水俣市立湯之見病院  
球磨郡公立多良木病院  
上天草総合病院  
国保河浦町立病院  
熊本赤十字病院  
八代総合病院  
熊本中央病院  
慶徳加来病院  
西合志病院  
熊本県こども総合療育センター  
(徳望会) 青葉病院 (旧真誠病院)  
熊本労災病院  
愛育会 福田病院  
牛深市民病院  
坂本病院  
芦北学園発達医療センター  
天草病院  
熊本地域医療センター  
公立玉名中央病院  
国療菊池病院  
坂梨会 阿蘇温泉病院  
坂本病院  
丸田病院  
はまゆう療育園  
熊本託麻台病院  
竜山病院  
玉名地域保健医療センター  
菊池中央病院  
城南病院  
杉上病院

**大分県：**

国立別府病院  
国療西別府病院

国立中津病院  
東国東地域国保総合病院  
山香町立国保総合病院  
佐賀関町国保病院  
大分県厚生連鶴見病院  
津久見市医師会立津久見中央病院  
藤本小児病院  
大分県済生会 日田病院  
大分市医師会立アルメイダ病院  
大分医科大学病院  
国立大分病院  
大分健生病院  
健保南海病院  
西田病院  
医療法人財団天心堂へつぎ病院  
大分岡病院  
大分県立三重病院  
竹田医師会病院

**宮崎県：**

国立宮崎病院  
県立日南病院  
小林市立市民病院  
高千穂町国保病院  
串間市国保病院  
都城市郡医師会病院  
育生会井上病院  
国療宮崎東病院  
宮崎医科大学付属病院  
辰元病院 (旧高岡病院)  
宮崎県済生会 日向病院

**鹿児島県：**

国立南九州中央病院  
国立指宿病院  
鹿児島大学病院  
県立鹿屋病院  
鹿児島市立病院  
八反丸病院  
サザン・リージョン病院  
オレンジ学園  
田原病院  
中村温泉病院  
鹿児島こども病院  
国分生協病院  
児玉上前共立病院  
県立大島病院  
国療南九州病院  
総合病院鹿児島生協病院  
やまびこ整肢学園  
出水郡医師会立阿久根市民病院  
肝属郡医師会立病院  
鹿児島市医師会病院  
財団法人今給黎総合病院  
薩摩郡医師会病院

**沖縄県：**

沖縄光武病院  
北部病院  
球陽会 海邦病院  
陽心会 大道中央病院  
大平会 嶺井第二病院  
社団法人北部地区医師会病院  
総合病院沖縄赤十字病院  
琉球大学病院  
沖縄県立那覇病院  
沖縄協同病院  
沖縄整肢療護園  
もとぶ野毛病院  
与勝病院  
国立療養所沖縄病院  
中部徳洲会病院  
中部協同病院  
潮平病院  
沖縄県立沖縄療育園  
医療法人信和会沖縄第一病院  
与那原中央病院